

創立50周年記念誌

むつぼし



静岡点訳奉仕の会



例会のようす… パソコン点訳で「静岡点訳かわら版」を共同製作



静盲まつりへの参加 … 会の活動や点訳について実演・展示

目 次

会長挨拶	1
むつぼし発行に寄せて	3
静岡点訳奉仕の会50周年によせて	
静岡県立静岡視覚特別支援学校長 粕谷 泰以	3
お祝いの言葉 静岡点字図書館長 北村 國七郎	5
創立50周年に寄せて 静岡点訳奉仕の会 第2代会長 田中 ちえ	6
静岡点訳奉仕の会の活動および周辺の状況の推移	7
これまでの「むつぼし」表紙コレクション	11
近況	12
厚生労働大臣より表彰状を受ける	12
これまでに製作された図書の一覧	13
静岡点訳かわら版	26
特集 1	28
本会の発展に尽くした人 ～ 大村 楠さん ～	28
大村 楠さんの思い出	34
寄稿	35
閑中雑感 静岡盲学校教諭 入川 勝男	35
点訳奉仕会50周年によせて カンザス大学講師 望月 千雅子	36
特集 2	37
点訳技術の変遷	37
会員より	43
点字さん 土橋 敦子	43
ボランティア考、思いつくままに 橋田 憲司	45
パソコン点訳グループ「ぱそぴあ清水」ご紹介	51
点訳グループ たんぽぽ ご紹介	52
点訳クラブ・モーゼル ご紹介	53
清水点訳グループ「あかつき」ご紹介	54
会を支えて下さるかたがたより	56
在校生) 静岡県立視覚特別支援学校 鈴木 萌依	56
利用者) 50周年に寄せて 酒井 康子	57
元会員) サプライズ 山田 馨	58

10 周年記念誌「むつぼし」を振り返って	60
静岡点奉の今後への期待	60
私の点訳奉仕	62
当時を思い出しておいて	64
資 料	65
1. 県内視覚障害者関係ボランティア一覧（図書関係）	65
2. 昭和3年点訳指針	67
3. 視覚障害教育情報ネットワーク	70
静岡点訳奉仕の会 会員名簿	72
編集後記	74

50周年を迎えて

静岡点訳奉仕の会 会長 松原 幸男

◆ 皆様に感謝 ◆

静岡点訳奉仕の会が1963年(昭和38年)に発足して50年、月日のたつのは早いものです。

この半世紀、会が存続出来たのも会員皆様の点訳奉仕に対する情熱があればこそと、思います。そして会を支えて下さった多くの方々に感謝の念にたえません。

特に静岡視覚特別支援学校の歴代の校長先生はじめ先生方にはお忙しい校務のなか、外部との対応、点字のご指導、会の運営等にご助力をいただきました。

また資金面では前会長の田中様や静岡ライオンズクラブをはじめ大変多くの個人・団体の方々より援助をいただきました。今まで資金の心配をせず、会の運営に専念できたのもこれらの方々のおかげです。

最近の数年間は平成21年に静岡市長より、平成22年に静岡県知事よりボランティア等善行功労表彰、平成23年には厚生労働大臣よりボランティア功労表彰と受賞できたのも、私たちの会の長期にわたる地道な活動が評価されたものと思います。

◆ パソコンの利用 ◆

最近の20年位はパソコン点訳が主流になってきました。従来、利用者は地域の点字図書館に出向く、もしくは字図書館より取り寄せる方法しかありませんでした。今はインターネットで全国どこからでも情報を取り寄せ利用出来るようになっていきます。

又、点訳する側にとっても入力や修正が容易になり地域規模から全国規模へ提供が出来、活動の範囲が広がりました。

パソコンの利用方法は点訳のほか音訳・拡大図書の製作にも利用できますし、新たな利用方法を開発することで益々用途が広がってきます。

◆ 進むべき方向 ◆

最近の新聞には新刊書の紹介記事、書評、広告があふれ、書店に入りますとベストセラー書籍が山のように積まれています。又、紙を媒体としない電子書籍など新しいタイプの読み物や新聞が普及し始めています。

多くの情報や物が街にあふれ、欲しいものは手軽に手に入れられる現在、視覚障害の方々に提供されているそれらはあまりにも少なすぎます。

「よみたい人が、よみたい本を、よみたい時に」との思いですがよみたい本を選べない、今どんな本が発行されているすら判らない。そんな方に「よみたい本を、よみたい時によめるよう」活動을続けて行きたいと思うものです。

大勢の人々に利用していただくだけでなく、個人へのニーズ対応も考えたいと思います。授業に沿った副読本や問題集、趣味の本の製作なども需要はあります。

これらは今後の会の進むべき方向へのヒントかも知れません。

50周年を機に静岡点訳奉仕の会の進んでゆく方向を考えてまいりましょう。



静岡盲学校に於ける点訳講習会
(10周年記念誌より)



昭和50年度総会
(15周年記念誌より)



録音勉強会
(20周年記念誌より)

静岡点訳奉仕の会 50 周年によせて

静岡県立静岡視覚特別支援学校長 粕谷 泰以

昭和38年(1963年)に発足した静岡点訳奉仕の会が今年、50年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。50年、いや半世紀という長い年月、会長様始め会員の皆様が、点訳図書、拡大図書の作成、音訳図書等の作成にご奉仕いただきましたことに深く感謝申し上げます。

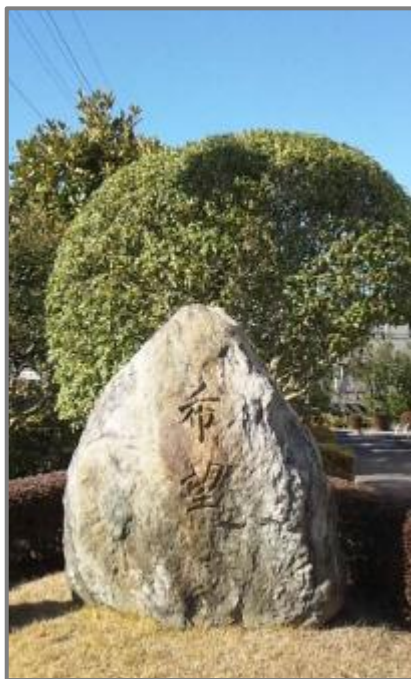
45周年の記念誌を拝見すると、発足当時からの本会の歩みを知ることができます。

昭和38年当時の会員数は59人、一時は100人を超える会員がいた時代もあったようですが、変遷を経て平成24年度は51人と会員数は発足当時とあまり変わりません。しかし、その間の情報技術の進歩は凄まじく、PCの普及によるデジタルデータを活用した点訳、音訳など発足当時には考えられなかった変化がありました。視覚障害者を取り巻く環境も大きく変わり、自立支援法の施行やその改正、障害者権利条約の批准に向けた法整備など今現在も刻々と変化しています。そんな変化の時代にあって、本校児童生徒の図書に触れる体験をずっと支え続けてこられた会員、一人一人の力と結集されたパワーの大きさに驚きと敬意を改めて感じています。この先、60年、70年と歩みが続けられると思いますが、PCなど情報機器はその技術とともにますます便利に、身近なものへと変化していくことと思います。文字が伝える真実の世界、創造の世界は変わることなく続きます。「読んで、聞いて、考えて、行動する」この人間としての思考の営みが続く限り、視覚障害者にとっての文字である点字は役割を終えることはないと思います。

平成23年度、本校は学校図書館活性化研究事業の研究指定を受けました。この研究推進にあたり、点訳奉仕の会の存在が私たち学校職員の大きな支えになりました。担任による読み聞かせ、ボランティアの皆さんによるお話の会や対面朗読、リクエストによる点訳、学校図書室の環境整備などにも取り組み、11月には研究報告会を県内の特別支援学校図書館担当者を招いて開催することができました。参加された他校の先生方は点字図書や拡大図書を手に取り、視覚特別支援学校の図書室に大いに興味を持

たれたようでした。「学校図書館を学びの基地に」を合言葉に取り組んだこの研究でしたが、会員の皆様を始めとするボランティアの存在なくしては推進できない取り組みであったと思います。

これからも児童生徒が図書に親しむ機会を増やし、興味・関心の喚起にむけて学校はこれからも努力をしてみたいです。どうぞ今後とも貴い御支援をいただけますようお願い申し上げますと共に、奉仕の会のますますの御発展を祈念いたします。



お祝いの言葉

50 年の御功勞に感謝して

静岡県点字図書館長 北村 國七郎

昭和38年に静岡点訳奉仕の会が発足されて、本年、記念すべき節目の50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げるとともに、50年という長きにわたり点訳、音訳、拡大図書の製作のほか文化的向上への支援など、これまでの素晴らしい功績に深く敬服しております。

貴会の会員各位は優れた点訳、音訳技術を持っておられることから、視覚特別支援学校の生徒をはじめ多くの視覚障害の方々にとって実に頼もしい存在であり続けておられます。

静岡県点字図書館は、貴会に遅れること6年、昭和44年に設置されましたが、貴会と同様に点訳、音訳などを行うほか、点訳及び音訳奉仕員の養成や個々の方に対する触読指導などを行っております。また、より多くの方々に点訳、音訳図書を利用していただけるよう視覚障害者の全国的な図書館、情報提供システムであるサピエに図書の提供を行っております。

近年、IT技術の急速な進歩により、サピエのほか電子図書館なども稼働しており、さらに電子書籍のますますの普及が見込まれ、視覚障害の方々にとって様々な方面からの支援は、多種多様の情報にアクセスする機会が増え、希望する情報に速く接することができることとなり、生活の質の向上に資することにも繋がっているものと思われます。

しかしながら、いかにIT技術が進んで便利になったとしても、貴会を創立した先人の気高い奉仕のころをもって一冊一冊の本を丹念に点訳、音訳することは誠に重要で、これ無くしては人と人とのつながり・福祉のころは醸成されていきません。

今後とも、会員方々におかれましては先人の奉仕の心を胸に抱き、健康にご留意のうえ、より一層ご活躍されることを、また貴会がますますご発展されることを祈念しております。

平成 25 年 3 月吉日

創立 50 周年に寄せて

静岡点訳奉仕の会

第 2 代会長 田中 ちえ

このたび『静岡点訳奉仕の会』が創立50周年を迎えられました事は、松原会長様はじめとるご関係の皆様には、そのお慶びは如何ばかりかと推察申し上げ、心よりお祝ひ申し上げます。

私は、昭和38年の創立より初代会長を務められた白鳥（旧姓・宮城島）英子様の跡を受け継いで、昭和42年から平成8年までの足掛け30年にわたり会長のお役を務めさせていただきました。

以前、創立30周年の記念誌に会長ごあいさつ文を書かせていただきましたが、もうあれから20年もの月日経ってしまったとは、感慨もひとしおです。

創立したばかりの頃を思い起こせば、点訳の器械や道具も単純な機能しか無く、点筆での手作業やオープンリールでの録音など、慣れない作業は本当に根気との勝負であり、会員の皆様の熱心な取り組みには頭の下がる事ばかりでした。

それでも、出来上がった作品は視覚障害の生徒さんたちの貴重な教材となり、また普段の楽しみのひとつとして喜んでもらえるということが励みとなって、活動は着実に成果を積み上げて行くことが出来たのだと思います。

そしてこの会には、点訳・拡大図書・録音テープの作成など、活動そのものによる奉仕の喜びや充実感という、携わった人にしか味わえないものもありますが、それ以外にも、この会からいただいた大きな宝物がありました。

それは、常に温かく支え続け、指導して下さった校外・校内幹事の先生方や、熱心に活動の継続を後押しし続けて下さった先輩の方々。そしていつも前を向いて楽しみながら参加して下さる会員の方々…。その数えきれない出会いこそが、かけがえのない宝物であったと実感しております。

この会が半世紀にもわたって築いて来たものは、着実に構成に引き継がれて更なる発展を続けられるものと確信し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

静岡点訳奉仕の会の活動および周辺の状況の推移

年度	本会関係						盲学校、周辺団体等	
	会員数	製作図書数				会報		摘 要
		点訳	録音	拡大	点訳 パソコン			
昭和 38	59					1・2	静岡県立静岡盲学校 点訳奉仕の会結成総会(6/23)	身障者更生指導所の点字図書、盲人ホームに移動
39	59	29				3・4	宮城島英子氏会長に就任	
40	68	39	37			5～7	点訳図書製本開始、録音はオープンリール型	
41	68	69	14			8～10	静盲生徒との親睦バレー 会員バッチ製作	
42	114	79	12			11・12	田中ちえ氏新会長就任	
43	114	39	8			13	製本の一部を外部に委託	
44	71	54				14・15	製本は全面的に外部委託	静岡県点字図書館設置
45	71	48	3			16・17	薬大六点会との交歓会(9/5)	静点、通信教育で点訳奉仕員の養成開始
46	65	88	1			18	土屋氏の寄付金による 土屋文庫設置(3/10)	静岡県点訳者連絡協議会発足(昭和54年頃まで継続)
47	65	85				19・20	簡易点字器購入頒布開始	静点、録音図書奉仕員養成開始
48	50	48				むつぼし	録音はカセット型に移行 創立10周年記念行事実施	静盲高等部本科募集停止
49	50	72	11				拡大図書製作研修(平塚盲) 静岡点訳奉仕の会と改称	静点、電動式点字製版機設置
50	50	47	37	120		21	拡大製本外部委託	
51	99	52	31	149		22	ライトプレーヤー10台購入	静点、高速テープ複製機設置
52	99	71	15	227			静岡県ボランティア協会加入	静点、移動点字図書館開始 静盲高等部本科専攻科生、在籍者皆無となる

年度	本会関係						盲学校、周辺団体等		
	会員数	製作図書数				会報		摘 要	
		点訳	録音	拡大	パソコン点訳				
53	106	85	43	226			特殊教育100年記念 全国特殊教育振興大会で感謝状を受賞		
54	106	90	40	185		むつぼし	創立15周年記念行事実施	静盲創立80周年記念式典実施	
55	102	83	78	136			NHK アナウンサーを講師とし、録音講習会開始(～昭和62年)、奉仕者懇談会(11/23)	静盲、プール・歩行訓練施設完成	
56	102	69	116	65		23～25	明社協加入(～昭和57年)		
57	113	87	74	53		26・27	読売光と愛の事業団から「福祉活動奨励賞」受賞	静点、点訳奉仕養成講習会を開始(通信指導は中止)	
58	94	85	85	42		28 むつぼし	創立20周年記念行事(会場は県総合福祉会館6F)	静点、県総合福祉会館に移転	
59	95	73	45	76			拡大交流会参加(～昭和63年)	静盲創立90周年記念式典施行 静点、「てんやく広場」加入 IBM、パソコン点訳システムを全国点字図書館他に配布	
60	95	66	44	18					
61	95	68	8	27					
62	93	86	64	44					
63	87	34	19	25					
平成 元	83	32	23	33					
2	74	36	9	22			静岡女性の会参加 点字拡大研修会(～平成5年)	パソコン点訳ソフトは主に無量寺点字出版所の「BASE」	
3	70	41	1	50					
4	70	47		28				盲学校点字情報ネットワーク開設(パソコン通信)	

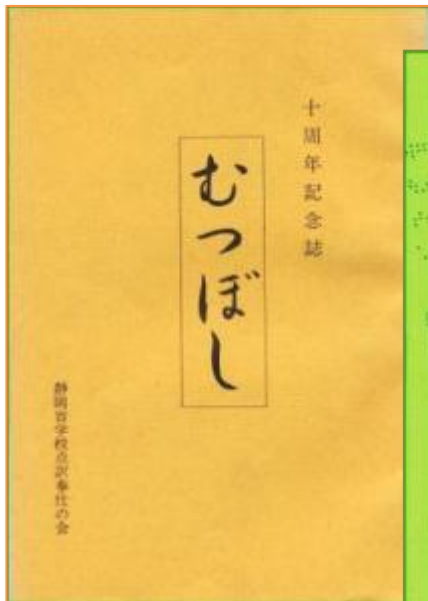
年度	本会関係						盲学校、周辺団体等	
	会員数	製作図書数				会報		摘 要
		点訳	録音	拡大	パソコン点訳			
5	69	54		38		むつぼし	創立30周年記念行事 (場所:視聴覚センター)	MS-DOS から Windows3.1への移行始まる
6	58	44		47				「盲学校点字情報ネットワーク事業」で、IBM がパソコン一式を全国盲学校に寄贈
7	56	54	22	54	54		厚生大臣より功労賞受賞 パソコン点訳の開始	静点、点字情報ネットワーク事業(点字JBニュース)開始
8	55	65	18	33	15		静岡県ボランティアグループ活動奨励賞受賞	静点、パソコン点訳図書を蔵書として受け入れ開始
9	58	45		24	15		松原幸男氏新会長就任	
10	53	40		24	61		静岡盲学校創立百周年記念式典にて表彰される	静岡盲学校創立百周年記念行事挙 行 Windows98発売
11	55	43		17	81			静点、Daisy録音図書貸出開始
12	61	33	9	6	77			静点、プレクストーク貸出開始
13	73	39	40	11	100			「総合ないぶネット」開始 WindowsXP 発売
14	63	21	22		50			盲学校点字情報ネットワークがインターネットシステム化
15	53	62	5		44	むつぼし	創立40周年記念行事実施（会場:静岡盲学校講堂）	盲学校点字情報ネットワークが視覚障害教育情報ネットワークに更新される
16	56	13			76			
17	56	6		2	27		(パソコン点訳の数を巻数から原本冊数に改める)	
18	56	11	2	1	47			
19	54	21			71		会員研修用ノートパソコン3台購入	

年度	本会関係							盲学校、周辺団体等
	会員数	製作図書数				会報	摘 要	
		点訳	録音	拡大	パソコン 点訳			
20	51				36	むつぼし	創立45周年記念行事実施	静岡盲、「静岡視覚特別支援学校」に校名変更
21	50	1			49		点訳かわら版発送開始	
22	56	5			65		静岡県ボランティア協会加入 県知事表彰	視覚障害者情報総合システム「サピエ」運用開始
23	48	2			65		厚生労働大臣表彰(11/21) 静岡市「心のバリアフリーイベント」に参加 (11/26)	
24	51				44			
25						むつぼし	創立50周年記念行事(予定)	

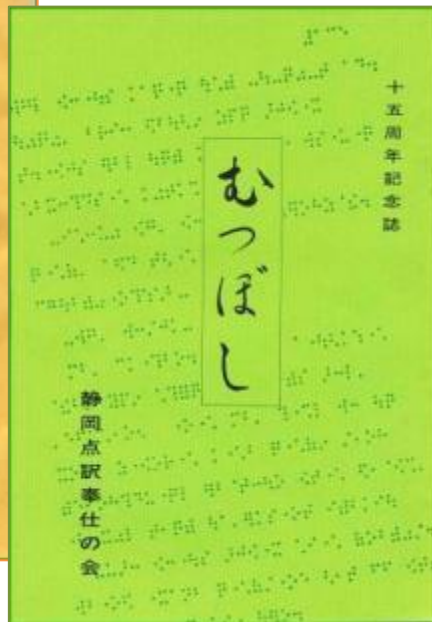


↑ 視覚障害者用そろばん

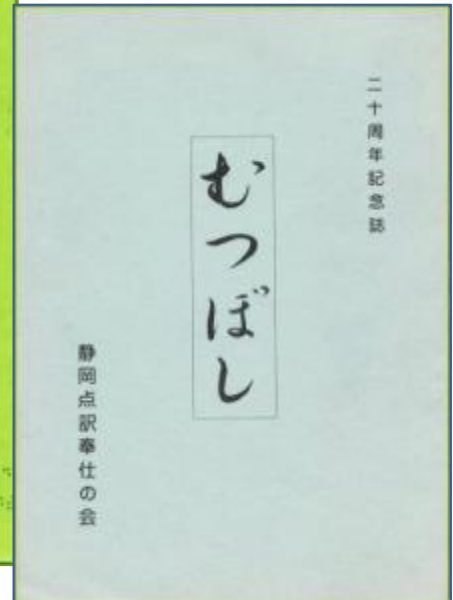
←L 点字専用点字器「だいてん丸」



昭和48年発行
創立10周年記念誌



昭和54年発行
創立15周年記念誌



昭和58年発行
創立20周年記念誌



平成5年発行
創立30周年記念誌



平成15年発行
創立40周年記念誌



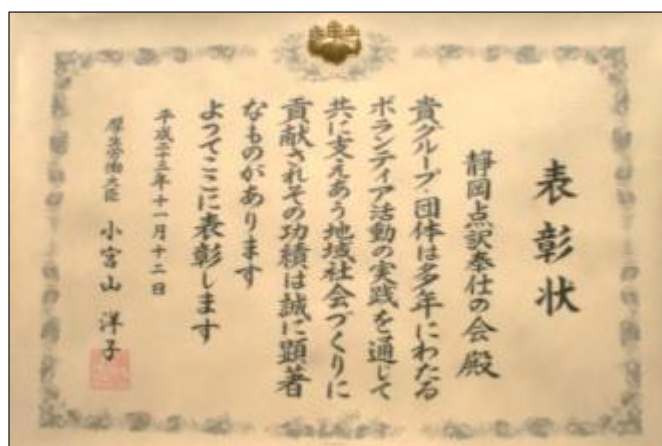
平成20年発行
創立45周年記念誌

厚生労働大臣より表彰状を受ける

長期に亘りボランティア活動に貢献したということで、本会が厚生労働大臣より表彰されることになった。厚生省の時代の平成7年にも受賞しているので、2回目となる。静岡市が政令指定都市であるためか静岡市長の田辺氏より、受け取ることとなり平成11年11月21日午後に松原会長、静岡視覚特別支援学校秋本副校長及び笠原役員の3名で静岡市役所に出向いた。

別室で簡単な手順の説明があったが、同時に清水区の清水手話サークルたつの子会も受賞することが分かった。この会は昭和47年に発足とのことで、代表は聴覚障害のある方とお見受けした。

その後、市長室に移り市長より会長に表彰状が手渡された。授賞式のあと、市長と話し合う機会があり、市長からは各団体の活動状況などの質問がされ、全日程が終わって辞去した。



これまでに製作された図書の一覧

※平成15年以降、書名50音順

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
1	アーモンド入りチョコレートワルツ / 森 絵都	加藤 ルミ	H17. 5
2	RDG1 レッドデータガール はじめてのお使い / 荻原 規子	加藤 ルミ	H23. 11
3	RDG2 レッドデータガール はじめてのお化粧 / 荻原 規子	加藤 ルミ	H23. 11
4	RDG3 レッドデータガール 夏休みの過ごし方 / 荻原 規子	加藤 ルミ	H23. 12
5	RDG4 レッドデータガール 世界遺産の少女 / 荻原 規子	加藤 ルミ	H24. 4
6	IC0 霧の城 / 宮部 みゆき	加藤 ルミ	H24. 8
7	あいつ探し / 中尾 三十里	伴野 富子	H17. 3
8	青い目のバンチョウ / 山中 恒	富山 真澄	H19. 12
9	赤い長靴 / 江國 香織	伴野 富子	H19. 2
10	赤いリュックの七人きょうだい / 鈴木 喜代春	堤坂 まさえ	H19. 7
11	かきの木いっぽんみが三つ / 宮脇 紀男	稲垣 鈴江	H19. 2
12	あさごはんからはじめよう / すずき さちこ	笠原 昭男	H23. 2
13	朝びらき丸東の海へ / C. S. ルイス	渡辺 恵美子	H20. 2
14	あしたぶたの日 / 矢玉 四郎	本原 美智子	H23. 4
15	あしたもね / 武鹿 悦子	関本 よし乃	H24. 7
16	あそこの席 / 山田 悠介	渡辺 恵美子	H24. 3
17	頭のうちどころが悪かった熊の話 / 安東 みさえ	釜下 晃	H19. 8
18	頭のさきと足のさき / 山中 恒	釜下 晃	H19. 7
19	あたまをつかった小さなおばあさん / ホープ・ニューウェル	瀧井 久江	H19. 8
20	あの頃の誰か / 東野 圭吾	稲垣 鈴江	H25. 1
21	あばれんまとおひなさま その目がやばい! / 山中 恒	渡辺 恵美子	H19. 5
22	アベルの島 / ウィリアム・スタイグ	釜下 晃	H19. 3
23	あやうし ズッコケ探検隊 / 那須 幹	稲垣 鈴江	H19. 5
24	歩き出す夏 / 今村 恭子	伴野 富子	H18. 3
25	アレクサンダとぜんまいねずみ / レオ・レオニ	瀧井 久江	H20. 12
26	あわれなマノリート / エルビラ・リンド	釜下 晃	H19. 3
27	アンソニー はまなす写真館の物語 / 茂市 久美子	伴野 富子	H19. 5
28	いいかげんがいい / 鎌田 實	伴野 富子	H23. 6

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
29	いいじゃないよ / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
30	家康公の史話と伝説とエピソードを訪ねて / 黒澤 脩	八木 利恵	H19. 7
31	イソップ / 青木 和雄	伴野 富子	H17. 7
32	いたずらでんしゃ / ハーディー・グラマトキー	加藤 ルミ	H20. 2
33	いたずらまじょ子とのろわれた小学校 / 藤 真知子	富山 真澄	H24. 5
34	いちご from Ichigo 2 / 倉橋 燿子	堀江 美希代	H16. 5
35	いちご from Ichigo 3 / 倉橋 燿子	堀江 美希代	H16. 8
36	1ねん1くみ1ばんあまえんぼう / 後藤 竜二	伴野 富子	H20. 4
37	1ねん1くみ1ばんいいやつ / 後藤 竜二	伴野 富子	H19. 7
38	1ねん1くみ1ばんえらい / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
39	1ねん1くみ1ばんおかねもち / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
40	1ねん1くみ1ばんがんばる / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
41	1ねん1くみ1ばんこわい / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
42	1ねん1くみ1ばんでっかい / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
43	1ねん1くみ1ばんびじん / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
44	1ねん1くみ1ばんびっくり / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
45	1ねん1くみ1ばんひみつ！ / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
46	1ねん1くみ1ばんふしぎ / 後藤 竜二	法月 寿子	H19. 6
47	1ねん1くみ1ばんゆうき / 後藤 竜二	渡辺 恵美子	H19. 8
48	いっしょにいようよ / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
49	いつまでも忘れない / ローレイン・マクダニエル	渡辺 雅江	H24. 11
50	いつも見ていて / 高橋 うらら	伴野 富子	H16. 9
51	犬部 / 片野 ゆか	釜下 晃	H22. 12
52	いのちの食べ方 / 森 達也	伴野 富子	H18. 12
53	いのちの光あふれて / ローレイン・マクダニエル	渡辺 雅江	H24. 11
54	いのち満ちて / 静岡新聞社	八木 利恵	H17. 6
55	ヴィディアと消えた王冠 / ローラ・ドリスコール	深津 あけみ	H19. 6
56	うおがしのあさ / 森下 研	高柳 迪子	H16. 7
57	ウサギが丘のきびしい冬 / ロバート・ローソン	釜下 晃	H19. 10
58	うさぎのくれたバレエシューズ / 安房 直子	深津 あけみ	H19. 5
59	うそつき大ちゃん / 阿部 夏丸	釜下 晃	H18. 2

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
60	うちの屋台にきてみんなしゃい / 大塚 菜生	伴野 富子	H16. 12
61	海鳴りの丘 / ジル・ペイトン・ウォルシュ	加藤 ルミ	H16. 2
62	海の水はどうしてしょっぱいの? / 科学技術振興機構	笠原 昭男	H23. 7
63	裏庭 / 梨木 香歩	加藤 ルミ	H18. 9
64	永遠の0 / 百田 尚樹	渡辺 雅江	H23. 11
65	永遠の友だち / サリー・ワグナー	稲垣 鈴江	H19. 10
66	栄光なき凱旋 (上) / 真保 裕一	渡辺 雅江	H22. 11
67	栄光なき凱旋 (中) / 真保 裕一	渡辺 雅江	H22. 11
68	栄光なき凱旋 (下) / 真保 裕一	渡辺 雅江	H22. 11
69	ええじゃないか17歳のチャレンジ / 宗田 理	釜下 晃	H17. 12
70	えっちゃんとかねこムー / 江崎 雪子	稲垣 鈴江	H23. 5
71	エドウィナからの手紙 / スーザン・ボナース	釜下 晃	H24. 11
72	おいていかないで / 筒井 頼子	瀧井 久江	H19. 7
73	王さまと九人のきょうだい / 君島 久子	八木 利恵	H20. 12
74	おじいさんの旅 / アレン・セイ	関本 よし乃	H24. 8
75	おじいちゃんのゴーストフレンド / 安東 みきえ	伴野 富子	H18. 4
76	おちゃめなふたごのさいごの秘密 / エニド・ブライトン	渡辺 恵美子	H16. 11
77	おちゃめなふたごの新学期 / エニド・ブライトン	渡辺 恵美子	H16. 10
78	おちゃめなふたごのすてきな休暇 / エニド・ブライトン	渡辺 恵美子	H16. 10
79	おちゃめなふたごの探偵ノート / エニド・ブライトン	渡辺 恵美子	H16. 11
80	おちゃめなふたごの秘密 / エニド・ブライトン	渡辺 恵美子	H15. 11
81	おでかけのまえに / 筒井 頼子	瀧井 久江	H19. 7
82	おてつだいねこのこもりうた / 竹下 文子	本原 美智子	H23. 7
83	お父ちゃんの音や! / 大野 圭子	富山 真澄	H24. 9
84	男の子が大人になるとき / 岩室 信也	渡辺 雅江	H24. 2
85	鬼にて候 1 / 横山 充夫	深津 あけみ	H19. 7
86	鬼にて候 2 / 横山 充夫	深津 あけみ	H20. 2
87	おばけのてんぷら / せな けいこ	関本 よし乃	H24. 8
88	おはなしぼっち (1) はる / もりやま みやこ	伴野 富子	H24. 7
89	おはなしぼっち (2) なつ / もりやま みやこ	関本 よし乃	H24. 9
90	おはなしぼっち (3) あき / もりやま みやこ	伴野 富子	H24. 7

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
91	おひめさまがっこうへいく / まだらの 三保	渡辺 雅江	H23. 11
92	おひめさまそらをとぶ / まだらの 三保	堤坂 まさえ	H23. 11
93	思いたったらすぐ、おやつ / 春山 みどり	八木 利恵	H15. 10
94	思い出トランプ / 向田 邦子	稲垣 鈴江	H22. 6
95	おりの中の秘密 / ジーン・ウィルス	西廣 美幸	H23. 3
96	女の子が大人になるとき / 早乙女 智子	富山 真澄	H24. 2
97	怪奇小説という題名の怪奇小説 / 都筑 道夫	本原美智子	H24. 9
98	かいぞくオネション / 山下 明生	八木 利恵	H23. 11
99	かおるが見つけた小さな家 / 征矢 清	岩本 令二	H21. 8
100	化学物質と健康の本 / 住 明正(監修)・森田 昌敏(編)	伴野 富子	H25. 1
101	鏡の中の秘密の池 / 富安 陽子	釜下 晃	H19. 5
102	緋のもんぺ ― 小笠掛川地区の15年戦争 / 静岡県退職婦人教師の会 小笠支部	笠原 昭男	H24. 8
103	角野栄子のちいさなどうわたち 1 / 角野 栄子	加藤 ルミ	H20. 2
104	角野栄子のちいさなどうわたち 2 / 角野 栄子	加藤 ルミ	H20. 2
105	かはたれ / 朽木 祥	釜下 晃	H20. 6
106	カモメに飛ぶことを教えた猫 / ルイス・セプルベダ	釜下 晃	H16. 5
107	カラスがまちにすんでいる / 唐沢 孝一	高柳 迪子	H16. 7
108	ガラスめだまときんのつののヤギ / 田中 かな子	深津 あけみ	H19. 6
109	かわいくなりたい / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
110	川の深さは / 福井 晴敏	渡辺 雅江	H24. 4
111	カンガルーのルーおばさん / 村山 桂子	加藤 ルミ	H19. 2
112	看護婦が見つめた人間が死ぬということ / 宮下 あずさ	伴野 富子	H18. 10
113	がんばれコーサク! / 渡辺 茂男	八木 利恵	H19. 2
114	きつとどこかの空の下で / 三輪 裕子	釜下 晃	H19. 2
115	キツネのハナジロ / 那須 正幹	伴野 富子	H17. 10
116	きつねのよめとり / 大友 康夫	布施 郁子	H16. 8
117	きつねみちは天のみち / あまん きみこ	渡辺 恵美子	H19. 2
118	きつねものがたり / ヨセフ・ラダ	法月 寿子	H19. 2
119	樹のことばと石の封印 / 富安 陽子	釜下 晃	H17. 5
120	きみとぼく / 今江 祥智	富山 真澄	H19. 3

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
121	球形の季節 / 恩田 陸	加藤 ルミ	H20. 6
122	99%の誘惑 / 岡崎 二人	渡辺 雅江	H23. 6
123	教科書にでてくるお話 1 年生 / 西本 鶏介	渡辺 恵美子	H19. 2
124	教科書にでてくるお話 2 年生 / 西本 鶏介	渡辺 恵美子	H19. 2
125	曲芸師ハリドン / ヤコブ・ヴェゲリウス	釜下 晃	H24. 10
126	桐島、部活やめるってよ / 朝井 リョウ	釜下 晃	H24. 12
127	木を切らないで / ジュディ・アレン	釜下 晃	H24. 4
128	銀の匙 / 中 勘助	加藤 ルミ	H21. 1
129	空気は読まない / 鎌田 實	伴野 富子	H23. 6
130	空中ブランコ / 奥田 英朗	渡辺 雅江	H23. 3
131	ぐずのぶのホームラン / 山中 恒	釜下 晃	H19. 2
132	口で歩く / 丘 修三	八木 利恵	H18. 4
133	くまのクウタの1ねん / 川口 ゆう	富山 真澄	H24. 7
134	くもりガラスのむこうには / あまん きみこ	富山 真澄	H24. 8
135	クライマーズ・ハイ / 横山 秀夫	渡辺 雅江	H23. 6
136	クラインの壺 / 岡崎 二人	渡辺 雅江	H23. 6
137	クリーニングやさんのふしぎなカレンダー / 伊藤 充子	富山 真澄	H23. 10
138	黒魔女さんが通る!! - チョコ、デビューするの巻（上） / 石橋 洋司	富山 真澄	H22. 12
139	黒魔女さんが通る!! - チョコ、デビューするの巻（下） / 石橋 洋司	富山 真澄	H22. 12
140	ぐんぐん強くなる陸上競技 / 尾縣 貢	笠原 昭男	H25. 1
141	獣の奏者 完結編 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H22. 7
142	獣の奏者 探求編 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H22. 7
143	獣の奏者 闘蛇編 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H19. 12
144	獣の奏者Ⅱ 王獣編 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H20. 3
145	元気が出る詩 1 年生 / 伊藤 英治	八木 利恵	H23. 1
146	元気が出る詩 2 年生 / 伊藤 英治	八木 利恵	H23. 1
147	元気が出る詩 5 年生 / 赤座 憲久	伴野 富子	H22. 12
148	元気が出る詩 6 年生 / 赤座 憲久	伴野 富子	H22. 12
149	元気です、17 歳 / 井上 美由紀	伴野 富子	H17. 12
150	号泣する準備はできていた / 江國 香織	渡辺 恵美子	H21. 11
151	紅茶を注文する方法 / 土屋 賢二	釜下 晃	H17. 2

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
152	コールドショルダー通りのなぞ / ジョーン・エイキン	渡辺 雅江	H24. 12
153	焦茶色のパステル / 岡崎 二人	渡辺 雅江	H23. 6
154	こころの小箱：リブラン創作童話 2002 / リブラン	伴野 富子	H19. 2
155	古事記 / 神野志 隆光	本原 美智子	H24. 2
156	こちらズッコケ探偵事務所 / 那須 正幹	富山 真澄	H21. 6
157	コッコさんのおみせ / 片山 健	布施 郁子	H19. 8
158	狐笛のかなた / 上橋 菜穂子	深津 あけみ	H20. 6
159	斎藤 孝の勉強のチカラ！ / 斎藤 孝	伴野 富子	H19. 3
160	サウスバウンド（上） / 奥田 英朗	渡辺 雅江	H23. 3
161	サウスバウンド（下） / 奥田 英朗	渡辺 雅江	H23. 3
162	魚だって恋をする / 今江 祥智	釜下 晃	H17. 7
163	さくらえび / さくら ももこ	渡辺 恵美子	H21. 5
164	さすらい猫 ノアの伝説 / 重松 清	釜下 晃	H23. 6
165	殺人レストラン / 松谷 みよ子	渡辺 雅江	H23. 2
166	さむがり王さまおばけの子 / 寺村 輝夫	渡辺 恵美子	H19. 8
167	さよならの贈りもの / ローレイン・マクダニエル	渡辺 雅江	H24. 10
168	さよなら紛争 / 伊勢崎 賢治	渡辺 雅江	H21. 11
169	残酷童話 / 倉橋 由美子	渡辺 雅江	H22. 7
170	さんまいのおふだ / 水沢 謙一	光武 松子	H19. 6
171	幸せの子 / トーマス・バーゲンゾール	渡辺 雅江	H21. 6
172	十歳のきみへ / 日野原 重明	伴野 富子	H20. 9
173	10分で読めるお話 2年生 / 岡 信子・木暮 正夫（選）	堤坂 まさえ	H19. 2
174	シノダ！魔物の森のふしぎな夜 / 富安 陽子	釜下 晃	H21. 5
175	シノダ！キツネたちの宮へ / 富安 陽子	釜下 晃	H24. 9
176	11月の扉 / 高橋 芳子	加藤 ルミ	H22. 11
177	15歳の寺子屋道しるべ / 瀬戸内 寂聴	渡辺 雅江	H24. 9
178	14歳からの哲学 / 池田 晶子	釜下 晃	H16. 5
179	樹上のゆりかご / 荻原 規子	加藤 ルミ	H16. 8
180	出身県でわかる人の性格 県民性の研究 / 岩中 祥史	稲垣 鈴江	H16. 10
181	瞬 / 河原 れん	稲垣 鈴江	H23. 1
182	少女イス地下の国へ / ジョーン・エイキン	渡辺 雅江	H24. 9

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
183	少女パレアナ / エレナ・ポーター	伴野 富子	H16. 1
184	じょうぶなからだをつくるたべもの / 吉田 隆子	渡辺 雅江	H23. 2
185	食堂かたつむり / 小川 糸	伴野 富子	H21. 7
186	白い鳥 / 椋 鳩十	布施 郁子	H17. 3
187	新耳袋 第8夜 / 木原 浩勝 ・ 中山 一朗	八木 利恵	H19. 6
188	杉浦日向子の江戸塾 笑いと遊びの巻 / 杉浦 日向子	渡辺 雅江	H23. 4
189	寿司屋の小太郎 / 佐川 芳枝	釜下 晃	H20. 1
190	スプーンおばさん / ブリョイセン	渡辺 雅江	H20. 4
191	世界をみつめる目になって / 望月 正子	加藤 ルミ	H19. 7
192	ゾウの長い鼻にはおどろきのわけがある！ / 山本 省三	稲垣 鈴江	H24. 1
193	蒼路の旅人 / 土橋 菜穂子	加藤 ルミ	H17. 10
194	そっと耳を澄ませば / 三宮 麻由子	渡辺 恵美子	H17. 11
195	ダーク (上) / 桐野 夏生	渡辺 雅江	H23. 7
196	ダーク (下) / 桐野 夏生	渡辺 雅江	H23. 7
197	退屈力 / 斎藤 孝	渡辺 恵美子	H23. 3
198	だいこん / 山本 一力	稲垣 鈴江	H21. 7
199	DIVE!! / 森 絵都	加藤 ルミ	H17. 12
200	DIVE!! 3 SS スペシャル'99 / 森 絵都	加藤 ルミ	H18. 5
201	DIVE!! 4 コンクリート・ドラゴン / 森 絵都	加藤 ルミ	H18. 6
202	たからもの 全盲の夫婦と赤ちゃんの愛の物語 / 立道 聡子	伴野 富子	H20. 3
203	たからものとんだ / もりやまみやこ	稲垣 鈴江	H19. 2
204	たけまる文庫謎の巻 / 我孫子 武丸	渡辺 雅江	H21. 11
205	たそがれ / 朽木 祥	釜下 晃	H20. 12
206	棚から哲学 / 土屋 賢二	釜下 晃	H15. 10
207	たなばた / 君島 久子	伴野 富子	H21. 6
208	旅の途中で / 高倉 健	稲垣 鈴江	H20. 6
209	たべるのだいすき / 吉田 隆子	笠原 昭男	H23. 2
210	ダルフルルの通訳 / ダウド・ハリ	渡辺 雅江	H21. 6
211	だれか、ふつうを教えてください / 倉本 智明	伴野 富子	H18. 10
212	小さい“つ”が消えた日 / ステファノ・ファン・ロー	瀧井 久江	H19. 3
213	千恵はきょう / 平野 ますみ	岩本 令二	H21. 9

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
214	チェリーブラッサム / 山本 文緒	渡辺 恵美子	H23. 9
215	チビ竜と魔法の実 / 富安 陽子	釜下 晃	H17. 3
216	朝鮮王朝の歴史と人物 / 康 熙奉	渡辺 雅江	H23. 12
217	月の笛 / 武鹿 悦子	釜下 晃	H19. 2
218	月の笛 / 武鹿 悦子	深津 あけみ	H19. 6
219	月夜にいらっしやい / 竹下 文子	釜下 晃	H15. 11
220	つくも神 / 伊藤 遊	釜下 晃	H17. 11
221	繋がれた明日 / 真保 裕一	渡辺 雅江	H23. 1
222	つなみ / 森 健	釜下 晃	H23. 10
223	冷たい校舎の時は止まる (上) / 辻村 深月	加藤 ルミ	H21. 10
224	冷たい校舎の時は止まる (下) / 辻村 深月	加藤 ルミ	H21. 10
225	ティンカー・ベルの秘密 / キキ・ソープ	深津 あけみ	H19. 10
226	手紙 / 東野 圭吾	稲垣 鈴江	H23. 10
227	でたこわい! おばけのうた / 山中 恒	富山 真澄	H20. 3
228	てつがくのライオン -詩の散歩道- / 工藤 尚子	八木 利恵	H19. 7
229	哲也の約束 / 西尾 ふみ子	伴野 富子	H16. 5
230	天国の本屋 恋火 / 松久 淳 ・ 田中 渉	稲垣 鈴江	H19. 2
231	天国はまだ遠く / 瀬尾 まいこ	渡辺 恵美子	H20. 3
232	天と地の守人 第1部 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H19. 6
233	天と地の守人 第2部 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H19. 7
234	東京少年 / 小林 信彦	釜下 晃	H18. 4
235	時のかなたの人魚の島 / 富安 陽子	釜下 晃	H23. 2
236	どくしょの時間によむ本1 小学2年生 / 西本 鶏介	八木 利恵	H19. 2
237	図書室の海 / 恩田 陸	加藤 ルミ	H19. 3
238	となりのウチナーンチュ / 早見 裕司	釜下 晃	H20. 12
239	トム・ソーヤの冒険 / マーク トウェイン	瀧井 久江	H23. 9
240	ドラッグ(薬物)の害がわかる本 / クレア・レイナー	八木 利恵	H24. 3
241	虎と月 / 柳 広司	釜下 晃	H21. 6
242	とんでもないあついひ / こいで たん	布施 郁子	H19. 8
243	泣いちゃいそうだよ / 小林 深雪	富山 真澄	H22. 3
244	菜緒のふしぎ物語 / 竹内 もと代	渡辺 雅江	H23. 10

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
245	流れゆく者 / 上橋 菜穂子	加藤 ルミ	H20. 7
246	夏の終わりに / ジル・ベイトン・ウォルシュ	加藤 ルミ	H15. 11
247	夏目家の福猫 / 半藤 末利子	釜下 晃	H21. 4
248	七夜物語（上） / 川上 弘美	渡辺 雅江	H24. 6
249	七夜物語（下） / 川上 弘美	渡辺 雅江	H24. 7
250	名前探しの放課後（上） / 辻村 深月	加藤 ルミ	H24. 12
251	名前探しの放課後（下） / 辻村 深月	加藤 ルミ	H24. 12
252	なまえをみてちょうだい / あまん きみこ	伴野 富子	H21. 6
253	西の魔女が死んだ / 梨木 香歩	加藤 ルミ	H18. 9
254	ニッポンの嵐 / 嵐	渡辺 雅江	H23. 9
255	日本文明 77 の謎 / 梅棹 忠夫	釜下 晃	H17. 10
256	ニュースの言葉 / 毎日中学生新聞編集部	釜下 晃	H17. 6
257	人形は笑わない / はやみね かおる	瀧井 久江	H17. 9
258	人魚の島で / シンシア・ライラント	八木 利恵	H17. 3
259	ノラネコの研究 / 伊澤 雅子	渡辺 雅江	H24. 1
260	ハードル / 青木 和雄	伴野 富子	H17. 2
261	ハードル 1 / 吉富 多美	伴野 富子	H19. 5
262	ハードル 2 / 吉富 多美	伴野 富子	H19. 6
263	ハーフ / 草野 たき	釜下 晃	H18. 12
264	灰色の北壁 / 真保 裕一	渡辺 雅江	H22. 10
265	バカなおとなにならない脳 / 養老 孟司	伴野 富子	H18. 7
266	化け猫レストラン / 松谷 みよ子	渡辺 雅江	H23. 2
267	はじめての坂本龍馬 / 斎藤 隆	伴野 富子	H22. 5
268	走れ、セナ！ / 香坂 直	伴野 富子	H19. 8
269	はしれ おてつだいねこ / 竹下 文子	伴野 富子	H23. 7
270	走れ車いすの犬「花子」 / 坂井 ひろこ	西廣 美幸	H23. 3
271	パセリ伝説 水の国の少女 memory1 / 倉橋 燿子	渡辺 雅江	H22. 12
272	パセリ伝説 水の国の少女 memory2 / 倉橋 燿子	渡辺 雅江	H22. 12
273	ハッピーバースデー 命かがやく瞬間 / 青木 和雄	岩本 令二	H21. 9
274	ハッピーなからだ / 安田 雅弘	八木 利恵	H16. 12
275	波照間からの旅立ち / 赤座 憲久	釜下 晃	H16. 12

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
276	ばばさまの俳句は日記つれづれに / 原 ひさ子	八木 利恵	H16. 1
277	母の自画像（上） / 石坂 洋次郎	岩本 令二	H21. 8
278	母の自画像（下） / 石坂 洋次郎	岩本 令二	H21. 10
279	阪急電車 / 有川 浩一	渡辺恵美子	H24. 12
280	P. I. P: プリズナー・イン・プノンペン / 沢井 鯨	渡辺 雅江	H24. 2
281	人は一瞬で変わる / 鎌田 実	伴野 富子	H23. 4
282	ひとりじゃないよ / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
283	姫おやじは名奉行！ / 村上 しいこ	釜下 晃	H21. 9
284	100年俳句計画 / 夏井 いつき	釜下 晃	H20. 3
285	不安な童話 / 恩田 陸	加藤 ルミ	H20. 11
286	風神秘抄 / 荻原 規子	加藤 ルミ	H23. 7
287	ふえをふく岩 / 君島 久子	布施 郁子	H17. 3
288	ふしぎなあの子 / 山中 恒	堀江 美希代	H19. 8
289	ふしぎやさん / 矢玉 四郎	本原 美智子	H23. 4
290	フジ子ヘミングの「魂のことば」 / フジ子・ヘミング	渡辺 雅江	H20. 11
291	武装解除 / 伊勢崎 賢治	渡辺 雅江	H22. 2
292	ふたつのバースデイ / ローレイン・マクダニエル	渡辺 雅江	H24. 10
293	フュージョン / 濱野 京子	釜下 晃	H21. 1
294	プラム川の土手で / ローラ・インガルス・ワイルダー	岩本 令二	H21. 8
295	フランバース屋敷の人びと 愛の旅立ち / K. M. ベイトン	渡辺 雅江	H22. 7
296	フランバース屋敷の人びと 愛ふたび（上） / K. M. ベイトン	渡辺 雅江	H22. 7
297	フランバース屋敷の人びと 愛ふたび（下） / K. M. ベイトン	渡辺 雅江	H22. 7
298	フランバース屋敷の人びと 雲のはて / K. M. ベイトン	渡辺 雅江	H22. 7
299	フランバース屋敷の人びと めぐりくる夏 / K. M. ベイトン	渡辺 雅江	H22. 7
300	プリズンホテル（4）春 / 浅田 次郎	渡辺 雅江	H24. 7
301	平凡な兎 / やすみ りえ	渡辺 雅江	H22. 9
302	碧空の果てに / 濱野 京子	釜下 晃	H22. 3
303	ベックとブラックベリー大戦争 / ローラ・ドリスコール	深津 あけみ	H19. 10
304	ベルナのしっぽ / 郡司 ななえ	釜下 晃	H16. 10
305	ヘレンケラー / 山口 正重	富山 真澄	H20. 5
306	勉強してはいけません（上） / 横田 順彌	稲垣 鈴江	H24. 3

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
307	勉強してはいけません（下） / 横田 順彌	提坂 まさえ	H24. 3
308	へんてこもりにいこうよ / たかどの ほうこ	富山 真澄	H22. 2
309	へんてこもりのコドロボー / たかどの ほうこ	笠原 昭男	H22. 1
310	へんてこもりのなまえもん / たかどの ほうこ	富山 真澄	H22. 2
311	暴走老人 / 藤原 智美	釜下 晃	H22. 6
312	包帯クラブ / 天童 荒太	釜下 晃	H18. 6
313	ボーイフレンドはエッチなゆうれい / 山中 恒	富山 真澄	H20. 1
314	ポーランド孤児・「桜咲く国」がつかないだ765人の命 / 山田 邦紀	渡辺 雅江	H24. 3
315	ぼくだけしっている / もりやま みやこ	伴野 富子	H19. 2
316	ぼくときみとみんなのマーチ / 荒井 良二	笠原 昭男	H24. 6
317	ぼくのメジャースプーン / 辻村 深月	加藤 ルミ	H21. 12
318	ぼくらの第2次七日間戦争 / 宗田 理	提坂 まさえ	H17. 4
319	星の牧場 / 庄野 英二	釜下 晃	H16. 8
320	ポティラ / コルネーリア・フンケ	釜下 晃	H24. 9
321	ほらふき男爵の大旅行 / 斉藤 洋	釜下 晃	H20. 10
322	ほらふき男爵の冒険 / 斉藤 洋	釜下 晃	H20. 10
323	ボローニャ紀行 / 井上 ひさし	釜下 晃	H22. 7
324	ほんまもんでいきなはれ / 村瀬 明道尼	稲垣 鈴江	H17. 12
325	マーメイド・ラグーンのラニー / リサ・パパディメトリュー	深津 あけみ	H20. 2
326	マザコン刑事の事件簿 / 赤川 次郎	渡辺 雅江	H20. 3
327	まじょ子のこわがらせこうかんにつき / 藤 真知子	渡辺 雅江	H24. 5
328	まじょ子どんな子ふしぎな子 / 藤 真知子	渡辺 雅江	H24. 5
329	まじょになりたい / 中島 和子	八木 利恵	H20. 3
330	まじょのいのり / 中島 和子	伴野 富子	H21. 9
331	真夏のオリオン / 福井 晴敏	渡辺 雅江	H23. 1
332	まるまれアルマジロ / 安東 みきえ	釜下 晃	H21. 11
333	満月の夜、母を施設に置いて / 藤川 幸之助	伴野 富子	H20. 12
334	ミカ！ / 伊藤 たかみ	釜下 晃	H23. 7
335	ミカ！× ミカ！ / 伊藤 たかみ	釜下 晃	H23. 9
336	水の伝説 / たつみや 章	深津 あけみ	H20. 3
337	みみずくの夜メール / 五木 寛之	加藤 ルミ	H19. 2

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
338	みみずくの夜メール2 / 五木 寛之	加藤 ルミ	H19. 10
339	夢中になりたい / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
340	ムラサキ山のギン / 河島 憲代	深津 あけみ	H19. 7
341	名門フライドチキン小学校 / 田中 成和	伴野 富子	H23. 11
342	名門フライドチキン小学校2 大うんどう会 / 田中 成和	市村 寿子	H23. 10
343	名門フライドチキン小学校3 注射がいちばん / 田中 成和	市村 寿子	H23. 12
344	名門フライドチキン小学校4 ぷかぷかサッカー / 田中 成和	渡辺 雅江	H23. 10
345	名門フライドチキン小学校5 ようかいランド / 田中 成和	富山 真澄	H23. 11
346	めがねっこマノリート / エルビラ・リンド	釜下 晃	H19. 3
347	メダカのえんそく / 阿部 夏丸	深津 あけみ	H19. 6
348	メルルは歌をうたえない / マルリース・バーデリー	渡辺 雅江	H20. 11
349	もっとかわいくなりたい / 小林 深雪	渡辺 雅江	H22. 3
350	もっと泣いちゃいそうだよ / 小林 深雪	富山 真澄	H22. 4
351	もりのゆうびんきょく / 舟橋 靖子	関本 よし乃	H23. 2
352	やくそく王さまたんじょう日 / 寺村 輝夫	伴野 富子	H19. 6
353	優しい子よ / 大崎 善生	伴野 富子	H22. 2
354	夜叉神峠死の起点 / 太田 蘭三	渡辺 雅江	H23. 12
355	山のとしょかん / 肥田 美代子	渡辺 雅江	H23. 2
356	勇気ある言葉 / 遠藤 周作	伴野 富子	H16. 8
357	幽霊派遣会社 / エヴァ・イボットソン	釜下 晃	H18. 10
358	幽霊屋敷貸します / 富安 陽子	伴野 富子	H16. 5
359	雪窓 / 安房 直子	富山 真澄	H24. 1
360	雪わたり / 宮沢 賢治	本原 美智子	H24. 8
361	雪を待つ八月 / 狗飼 恭子	渡辺 恵美子	H18. 11
362	指輪物語 1 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H20. 12
363	指輪物語 2 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H21. 4
364	指輪物語 3 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H21. 4
365	指輪物語 4 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H21. 4
366	指輪物語 5 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H21. 4
367	指輪物語 6 / J. R. R. トールキン	渡辺 雅江	H21. 4
368	夢は翼をつけて / ヨシコ・ウチダ	伴野 富子	H17. 6

No.	タイトル / 著者	点訳者	製作年月
369	八日目の蟬 / 角田 光代	稲垣 鈴江	H24. 2
370	よなよなペンギン / りん たろう・林 すみこ	渡辺 雅江	H22. 8
371	世にも美しい日本語入門 / 安野 光雅 ・ 藤原 雅彦	釜下 晃	H18. 7
372	四年一組ミラクル教室それはくしゃみではじまった（上） / 服部 千春	渡辺 雅江	H24. 3
373	四年一組ミラクル教室それはくしゃみではじまった（下） / 服部 千春	本原 美智子	H24. 3
374	夜の神話 / たつみや 章	深津 あけみ	H19. 6
375	よんでおきたい1ねんせいのよみもの / 長崎 源之助	富山 真澄	H19. 2
376	ライオンと魔女 / 瀬田 貞二	渡辺 恵美子	H18. 7
377	ライオンハート / 恩田 陸	加藤 ルミ	H18. 12
378	ランナー / あさの あつこ	釜下 晃	H19. 11
379	リアル鬼ごっこ / 山田 悠介	岩本 令二	H21. 9
380	竜神七子の冒険 / 越水 利江子	釜下 晃	H19. 7
381	竜の巣 / 富安 陽子	富山 真澄	H23. 7
382	リリーのふしぎな花 / キルステン・ラーセン	深津 あけみ	H20. 2
383	レイチェルと滅びの呪文 / クリフ・マクニッシュ	渡辺 雅江	H24. 8
384	レイチェルと魔導師の誓い / クリフ・マクニッシュ	渡辺 雅江	H24. 8
385	レイチェルと魔法の匂い / クリフ・マクニッシュ	渡辺 雅江	H24. 8
386	六枚の肖像画 / 美尾 浩子	笠原 昭男	H20. 4
387	わすれものチェック！ / スギヤマカナヨ	渡辺 雅江	H23. 2
388	わすれた王さまうみのなか / 寺村 輝夫	稲垣 鈴江	H19. 8
389	輪違屋糸里（上） / 浅田 次郎	渡辺 雅江	H23. 9
390	輪違屋糸里（下） / 浅田 次郎	渡辺 雅江	H23. 9

静岡点訳かわら版

静岡点訳かわら版は、新聞やインターネットから折々の話題を取り上げて点訳し、点字利用者の皆様へお届けしたいと始まった。平成21年の開始から既に45号を数え、今後は郵送だけでなく音声版などへの取り組みも予定されている。

号	内 容	出典
1	子育て支援や介護の改革 俗に言う演歌の「こぶし」って 夏の高校野球地方大会	WEB
2	2016年日本でオリンピック・パラリンピックを！	共済ニュース
3	所変わればカレーも変わる 何故起こる局地的大雨 福祉機器体験フェアの御案内	中日ショッパー 全労災
4	日本人宇宙飛行士の軌跡 あれから14年地震対策マニュアル	WEB
5	心の目を開けたい あれから14年地震対策マニュアル(続き)	WEB
6	脳梗塞のt-PA 治療 ドクター中川のガンから死生を見つめる	毎日新聞
7	みつやサイダー 親子インタビュー	毎日新聞
8	鬼籍に入った人々 転落、接触防ぐ可動式柵 防災素材の割烹着	毎日新聞
9	09年科学界の10大ニュース 中国で化石見つかる-鳥に最も近い恐竜？	毎日新聞
10	介護者の体にも優しい北欧式介助法とは 猫のあくび 装うファッショ	毎日新聞
11	窓口の振込み手数料減額 猫のあくび おすすめワクワクランド	毎日新聞
12	伸び行く姿に思い馳せ オルニチン使用で肝機能改善	毎日新聞
13	遺児らの進学支えて 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
14	学生 授業より就活 女の気持ち 食卓の一品 食品表示のおいしい読み方	毎日新聞
15	台所から CO2削減 葬儀費用前払いのトラブル 消費者力アップ 食品表示のおいしい読み方5 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
16	高齢者室内熱中症注意 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
17	水道今や味で勝負 女の気持ち 食卓の一品 アルツハイマーの新薬 ドクター中川のガンから死生を見つめる	毎日新聞
18	高齢者 家で転倒防いで 女の気持ち 食卓の一品 電子タバコを吸ってみた	毎日新聞
19	肩凝り 手術の説明 子ども相談室 介護のことば 健康食品っていったい何？	毎日新聞 共済うるおい
20	こんにやくゼリーによる窒息 あなたの処方箋 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
21	ご縁ありまして 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
22	ホームドア設置急務 あなたの処方箋 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
23	酸性の飲食物で歯に穴 うつ病患者の6割、頭などの痛み訴え 子ども相談室	毎日新聞

号	内 容	出典
24	漢方ドックで未病発見 すこやか24節季 東日本大震災 暮らしどうなる 食卓の一品 女の気持ち	毎日新聞
25	被災地外も心身ケアを みんなの広場 食卓の一品	毎日新聞
26	広がるボランティア休暇 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
27	東日本大震災 暮らしどうなる 広がるガン患者支援講座 介護のことば 食卓の一品 女の気持ち	毎日新聞
28	特集 検証大震災	毎日新聞
29	三陸物語	毎日新聞
30	サービス付き高齢者住宅 イロハのイ 介護保険に来春から新制度 食卓の一品 女の気持ち	毎日新聞
31	骨粗鬆症 Dr.中川のガンの時代を暮らす 遺伝子組み換え GM パパイア 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
32	酒の無理ない飲み方は 女の気持ち 食卓の一品 怒らず生きる極意 しゃべって教える線量計	朝日新聞
33	介助犬 生き物と生きる 特集ワイド	毎日新聞
34	国の難病助成対象拡大へ 出会い系サイトで高額請求 男の気持ち 若者に増えている清潔男子「綺麗男」とは 食卓の一品	毎日新聞
35	東日本大震災 どうする放射能汚染 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
36	キャンパス交友 入学前から 廃棄前の食品いただきます 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
37	見て 義足の体を 世界に挑むため 静岡 音楽の現場 名古屋地裁 証拠を点訳 全国初 全盲女性の点字訴訟 残された命の扱い教訓に 飼い主も助けたい ボランティア奮闘	朝日新聞 毎日新聞
38	社食ツアー大人気 トマトスープにもちもち麺 山本さんちの台所 男の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
39	取り決めなくても届受理 離婚後の養育費、親子面会 歌詞の空欄埋めて若返り 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
40	最新式で「安眠の敵 撃退」 気をつけよう「内臓冷え」 女の気持ち 男の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
41	運動、食事工夫し代謝アップ 子供への施設内虐待 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
42	墓と一体 自宅でお参り 泥の中で笑う 英語漬け会議資料 食卓の一品	毎日新聞
43	食の楽しさ伝える 不況反映お父さんのランチ 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
44	御当地ウォーク 家年末ジタク おすすめ収納術 女の気持ち 食卓の一品	毎日新聞
45	ホンのひととき 0～2歳の親 ベネッセが調査 意外に多い冬の脱水症状 男の気持ち 食卓の一品 飲み会予算 最低更新	毎日新聞

本会の発展に尽くした人 ～大村 楠さん～

昭和38年に本会は発足したが、昭和の終わり、まだパソコン点訳がほとんど始まらなかった頃までも、多くの方々が点訳、録音(のちに音訳)、拡大図書の分野で活躍された。

ここに紹介する大村さんは、本会発足時から間もなく点字板点訳を始められたが、直ぐにライトブレーラーを導入され、殆どの点訳が、このタイプで行われた。

旧会員では大村さんの他にも、あくまで点字板点訳にこだわり、多量の作品を作られた海野 保三さん、終日、点訳と拡大図書製作に明け暮れた大石 巖さん、美しい筆跡と挿絵で精力的に拡大図書を作られた深澤 政江さんなど、多くの方々が思い出され、その作品は、今でも静岡視覚特別支援学校の蔵書として残されているのである。

大村さんの図書の大部分は、学校の係により大阪の業者に委託して製本化され、児童生徒の閲覧に供されていた。現在、学校には外部に寄付されたものを除いた作品が図書室のコーナーに特設開架されており、現会員が1冊ずつ点検して収録した資料を元に、そのすべてを年代順に紹介することにした。

No.	書 名	巻数	著 者	点訳 年月
1	シートン動物記(一)		シートン	S40.10
2	シートン動物記(二)		シートン	S40.10
3	交通遺児作文集 もう一度私と手をつないで		交通事故遺児を励ます会	S41.10
4	フランダースの犬	1	奈街 三郎	S41.12
5	さぶ		山本 周五郎	S42.8
6	牙王物語	4	戸川 幸夫	S42.8
7	まえがみ太郎	1	松谷 みよ子	S42.10
8	オオカミ犬物語	2	戸川 幸夫	S43.2
9	アンクルトム	2	ストウ	S43.6
10	アルプスの少女	2	ヨハンナ・スピリ	S43.10
11	人間の運命 父と子	1	芹沢 光治良	S44.5
12	人間の運命 友情	3	芹沢 光治良	S44.7

No.	書 名	巻数	著 者	点訳 年月
13	人間の運命 愛	3	芹沢 光治良	S44.10
14	人間の運命 出発	4	芹沢 光治良	S45.2
15	人間の運命 失われた人	4	芹沢 光治良	S45.5
16	人間の運命 結婚	4	芹沢 光治良	S45.7
17	人間の運命 孤独の道	4	芹沢 光治良	S45.11
18	人間の運命 嵐の前	4	芹沢 光治良	S46.2
19	人間の運命 愛と死	4	芹沢 光治良	S46.5
20	人間の運命 夫婦の絆	4	芹沢 光治良	S46.8
21	人間の運命 戦野にたつ	4	芹沢 光治良	S46.11
22	人間の運命 暗い日々	4	芹沢 光治良	S47.2
23	人間の運命 夜明け	4	芹沢 光治良	S47.5
24	長いながい道	2	竹内 恒之	S47.7
25	人間の運命 再会	4	芹沢 光治良	S47.9
26	古 都	2	川端 康成	S48.4
27	島崎 藤村	2	島崎 藤村	S48.9
28	あかね雲	2	井上 靖	S48.11
29	ふたりのこいびと - シャンソンと料理	2	石井 好子	S48.11
30	長崎原爆読本 1 白い雲になって消えた(初級)	1	長崎平和教育資料編集委員会	S49.5
31	長崎原爆読本 2 夾竹桃の花咲くたびに(中級)	1	長崎平和教育資料編集委員会	S49.5
32	長崎原爆読本 3 原子野のこえ (上級)	1	長崎平和教育資料編集委員会	S49.5
33	長崎原爆読本 4 三たび許すまじ (中学用)	1	長崎平和教育資料編集委員会	S49.5
34	いっせいに花咲く街	2	赤座 憲久	S49.7
35	流れる星は生きている	3	藤原 てい	S49.9
36	あすへの心	2	浜尾 実	S49.11
37	胡椒息子	3	獅子 文六	S50.1
38	荒野の呼び声	2	ジャック・ロンドン	S50.6
39	すてきなあなたに	4	大橋 鎮子	S50.10
40	芙蓉の人	3	新田 次郎	S50.12

No.	書 名	巻数	著 者	点訳 年月
41	体の中を風が吹く	3	佐多 稲子	S51.2
42	ドライ・ママ	2	戸塚 文子	S51.4
43	坂の上の家	3	芹沢光治良	S51.5
44	壺井栄童話集	2	壺井 栄	S51.7
45	ネギをうえた人	2	金 素雲	S51.8
46	源氏物語(上)	4	村山リウ	S51.12
47	源氏物語(中)	4	村山リウ	S52.3
48	源氏物語(下)	3	村山リウ	S52.4
49	わたしの浅草	2	沢村 貞子	S52.6
50	天狗のかくれみの(二)	1	坪田 譲治	S52.8
51	まぼろしの花	1	清水 達也	S52.9
52	流れのほとり	4	神沢 利子	S52.12
53	静岡県の昔話		清水 達也	S53.1
54	母のない子と子のない母と	3	壺井 栄	S53.1
55	新十津川物語 北へ行く旅人たち	2	川村 たかし	S53.3
56	大空に生きる	2	椋 鳩十	S53.4
57	白いとんねる	1	杉 みき子	S53.5
58	ガラスのうさぎ	1	高木 敏子	S53.5
59	石切り山の人びと	3	竹崎 有斐	S53.6
60	白いぼうしの丘	1	佐々木 たづ	S53.7
61	静岡県の昔話 天女の羽衣		清水 達也	S53.8
62	貝のうた	3	沢村 貞子	S53.9
63	塩狩峠	3	三浦 綾子	S53.9
64	アルプスの猛犬(椋 鳩十 全集)	2	椋 鳩十	S53.9
65	にせものの英雄	2	椋 鳩十	S53.10
66	勝 海舟	1	保永 貞夫	S53.10
67	新十津川物語 広野の旅人たち	2	川村 たかし	S53.12
68	橋のない川・一部	6	住井 すゑ	S54.2

No.	書 名	巻数	著 者	点訳 年月
69	橋のない川・二部	5	住井 すゑ	S54.3
70	橋のない川・三部	5	住井 すゑ	S54.6
71	橋のない川・四部	5	住井 すゑ	S54.8
72	橋のない川・五部	5	住井 すゑ	S54.10
73	橋のない川・六部	5	住井 すゑ	S55.1
74	いないいないばあや	2	神沢 利子	S55.5
75	風の中の瞳	2	新田 次郎	S55.7
76	忘れられた島へ	3	長崎 源之助	S55.7
77	はだしのゲン	2	中沢 啓治	S55.10
78	ぼくの太平洋大航海 アルビレオ号の冒険		岡本 篤	S55.11
79	故郷	2	後藤 竜二	S55.12
80	大草原の小さな家	3	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.2
81	大きな森の小さな家	2	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.3
82	プラム・クリークの土手で	3	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.5
83	シルバー・レイクの岸辺で	3	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.6
84	農場の少年	3	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.7
85	窓ぎわのトットちゃん	3	黒柳 徹子	S56.8
86	長い冬(上)	2	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.9
87	長い冬(下)	2	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.11
88	この楽しき日々(上)	2	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.11
89	この楽しき日々(下)		ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.12
90	はじめの4年間	2	ローラ・インガルス・ワイルダ	S56.12
91	私の台所	3	沢村 貞子	S57.2
92	遠い岬の物語	2	伊藤 桂一	S57.2
93	サバクの虹	2	坪田 譲治	S57.3
94	ひとすじの道	3	丸岡 秀子	S57.6
95	日本国憲法	1	小学館	S57.6
96	片耳の大シカ	2	椋 鳩十	S57.8

No.	書 名	巻数	著 者	点訳 年月
97	山の大將	2	椋 鳩十	S57.9
98	やせ牛物語	1	椋 鳩十	S57.11
99	アルプスの猛犬	2	椋 鳩十	S57.12
100	カワウソの海	2	椋 鳩十	S58.1
101	不思議な石と魚の島	2	椋 鳩十	S58.2
102	海上アルプス	2	椋 鳩十	S58.2
103	日当山珠儒物語	2	椋 鳩十	S58.3
104	野獣の島	2	椋 鳩十	S58.3
105	山と民といのしし	2	椋 鳩十	S58.4
106	野生のさけび声	2	椋 鳩十	S58.5
107	孤島の野犬	2	椋 鳩十	S58.5
108	モモちゃんとアカネちゃん	2	松谷 みよ子	S58.6
109	マヤの一生	2	椋 鳩十	S58.7
110	月の輪グマ	2	椋 鳩十	S58.8
111	自然の中で	2	椋 鳩十	S58.9
112	日高山伏物語	2	椋 鳩十	S58.9
113	るり寺物語	2	椋 鳩十	S58.9
114	ネズミ島物語	2	椋 鳩十	S58.10
115	地獄島とロシア水兵	2	椋 鳩十	S58.11
116	指と耳で読む	3	本間 一夫	S59.1
117	季節の音	2	高見沢 潤子	S59.11
118	わが家への道	1	ローラ・インガルス・ワイルダ	S60.5
119	ほんものとの出会い	2	高見沢 潤子	S60.6
120	のらくろひとりぼっち	2	高見沢 潤子	S60.7
121	娘よ、ここが長崎です	2	筒井 茅乃	S60.8
122	女たちの 8 月 15 日	4	重兼 芳子 他	S60.11
123	一年一組せんせいあのね		鹿島 和夫	S61.1
124	夜あけ朝あけ	2	住井 すゑ	S61.2

No.	書 名	巻数	著 者	点訳年月
125	野づらは星あかり	4	住井 すゑ	S61.3
126	かぎりなくやさしい花々		星野 富広	S61.4
127	たのしい川べ	4	ケネス・グレーアム	S62.5
128	愛、深き淵より	2	星野 富広	S62.8
129	ふたりのイーダ	2	松谷 みよ子	S62.8
130	まき貝のうた	2	坪井 郁美	S63.11
131	幼ものがたり	3	石井 桃子	S63.11
132	フロックスはわたしの目	3	福沢 美和	H1.6
133	盲導犬ものがたり	1	福沢 美和	H1.7



静岡新聞 平成5年4月7日記事

多くの点訳書を製作した
大村 楠さん



大村 楠さんの思い出

利用者 酒井 康子（原文は点字）

点訳奉仕の会のお世話で、大村さんの沢山の御本に出会うことが出来ました。

暮らしの手帖社から出ていた「エプロンメモ」や「お惣菜12ヶ月」。沢村貞子さんの、「私の浅草」「私の茶の間」。高橋 修さんや三浦綾子さんなどがお書きになった小説など、何も考えなくても、いろいろな本を思い出します。誤字も無く、とても読み易く点訳して下さいました。

田村先生とご一緒に、北番町のお宅を何回かお訪ねしてお目にかかる機会もいただきました。賢夫人というのは、こんな方のことをいうんじゃないかしらと思ったのが、第一印象でした。物静かで落ち着いたお話の中に、沢山の優しさと、深い愛情をお持ちの方だということが滲み出ておりました。そんな方だからこそ、長く点訳を続けてくださることが出来たのではないのでしょうか。本当に沢山の光を、私たちに与えて下さいました。今のように、パソコンも無かった頃でしたから、タイプライターで一文字一文字打っていく作業は、決して楽なものではなかった筈ですし、随分根気のいる作業だったことでしょう。その本が、今どうなっているのか分かりませんが、1冊でも多く、1日でも長く保存していただいて、一人でも多くの人に読んでもらえるようにしておいていただくことを、切に望む者です。



閑中雑感

入川 勝男（元静岡盲学校教諭）

皆様今日は。

日々視障者に対する思いやり御精進に心から敬意と感謝を申し上げます。笠原氏から何か書くようにと御依頼を受け重い筆をとりました。

私は終戦後間もなく大陸から引揚げ、京都の府立盲学校で生徒を、静岡盲学校で教師を、東京の日盲連点字図書館で職員を勤め、現在の長岡京市に定住しました。これまで60余年点字と関わり、当地へ来てから京都ライトハウス点字図書館の点訳ボランティアを20年したというより、老化防止と手指を通して脳の活性化をさせてもらったと思えば、大へん有難い時を過し得たと言えます。ボランティアを退いた現在も、拡大読書器で百科事典の好みの項目例えば明治維新、昭和時代、啓蒙、再生、平氏、源氏、足利氏、室町幕府（現在京都市内には幕府跡の石碑あり）など適当に音読してはカニタイプで点字にします。書いた点訳が溜るのをみて家人が「これどうするの」と聞くのに対して、「そのうちに古紙として出してくれればよい」と言います。

私にとって点訳は食糧の一つと思っています。

ところで私は点字毎日（点毎）を指読みしています。今年は点毎創立90年にあたります。1922年（大正11年）5月11日大阪毎日点字毎日として中村京太郎主筆で全国の盲人に初の週刊誌が届けられるようになりました。実はこの年の9月は私の誕生日（別段何の関係もないのですが）「自分と同年だ」と一人ホクソ笑んでいます。

幕末から明治時代もそうでしたが、大正、昭和という時代は日本も世界も本当に激動の時代であったと痛感します。平成という時代が平和であり続けてほしいと思います。平和な社会の一員として点字の一粒一粒、点訳という派手ではないけれども、価値ある食糧を摂り且つ供給できれば幸いです。

皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたします。



「大阪毎日点字」
創刊号

点訳奉仕会 50 周年によせて

カンザス大学講師 望月 千雅子

静岡点訳奉仕会の皆様方、50周年の点訳奉仕の会が行ってきた弛まないご奉仕を記念し心よりお祝いを申し上げます。点訳奉仕は決してたやすくなし得ることではありません。点訳奉仕に携わってくださる奉仕者一人一人の忍耐強いご奉仕の精神に敬服すると共に心よりの感謝を申し上げます。

こちら米国では日本でも見られるように盲教育は盲学校教育中心の教育から普通学校教育へと変わり移っております。晴眼者と共に学校教育を受けるということは意義あり、価値ある事だと私は個人的に考えていますが、同時にこのような統合教育から生ずる問題を否定することは出来ません。私は今米国で全国盲人連合会 “National Federation of the Blind” に所属しています。この会によると現在約80パーセント以上の盲児が点字を読むことが出来ないでいるとのことです。盲人と晴眼者の統合教育がなされていることは盲児にとってプラス点がある面このようなマイナス面もあります。小・中・高校で点字の教育に通じた教師を見つけることが難しい、というのがまず一つの理由です。またパソコン等の幅広い導入により「点字教育は必要ではない」という誤った観念が晴眼者の盲教育に携わる教育者たちの間に広まっているというのが根本的な理由である、と私は考えています。点字の読み書きが出来ない、と言うことは「無学」であることを意味しており、他との競争に勝つことはおろか晴眼者と共に仕事に就くことなど不可能であることをも同時に意味しています。現在「すべての盲児に点字教育を」というのが全国盲人連合会のスローガンの一つになっています。このスローガンを本格的に実行するために連合会では、(1) 毎年クリスマスに小学生低学年の子どもたちからサンタクロースに当てて点字の手紙の募集、(2) 毎年点字での作文コンクールの催し、(3) 毎年の点字本読書コンクールの催し等を行い点字教育の普及と統制を奨励する運動を行っています。また全国の盲学校も点字読書のコンクール等を行い点字教育の普及に協力しています。

私の小・中・高校学生時代学校の図書室で過ごした時間を振り返りつくづく点字教育を受けることが出来たこと、また点訳奉仕の方々が作ってくださった点字本を読むことが出来た恵まれた環境にいたることができたことに感謝せずにはおれないこの頃です。点訳奉仕会のますますの点訳奉仕と会の発展を心より願っております。

点 訳 技 術 の 変 遷

笠原 昭男

1. はじめに

私が視覚障害教育に関わったのは昭和32年（1957年）で、まだパソコンは無かった。しかし亜鉛板式点字製版機という素晴らしいツールはずっと前から存在し、印刷スピードは現在のどんな高速プリンタにも未だに追隨を許さない。現在インターネットが普及し、点訳に関するかなりの情報も遡って検索することが出来る。なので私が関わってきた対象について、ハード面とソフト面について記してみたい。（文中「本校」とは現在の静岡視覚特別支援学校のこと）



亜鉛板式点字製版機

2. ハードウェア

(1) ライトブレイラー

点訳のスピードに画期的な変化をもたらした点字タイプライターで、当時点字板で凹面で読み書きしていた点訳者に好評で、パソコン点訳時代前まで良く使われた。東京の弘誓社（ぐぜいしゃ）製で今でも販売されている。

発売当初は7,000円台で、入手しにくい額では無かった。

(2) パーキンスブレイラー

米国製で読み書き凸面、計算などに紙をひっくり返さなくて済むので、本校では中学部で知的に少々劣っている生徒対象に昭和40年前後に導入されたように思う。その後、校内全般に使用されるようになってきている。



ライトブレイラー



パーキンスブレイラー

(3) ブレイルマスター

文部省は昭和55年頃、全国の盲学校にブレイルマスターを整備した。松下電器製だが、当時としては画期的で高性能のものだった。

既に点字の読み取りまで出来た。これは回転ドラムに点字の書かれた紙をセットし、ある時間掛けて螺旋状に読み取り、ディスプレイにカタカナ表示をする。但し片面で書かれたもののみが読み取れた。しかしパソコンが普及していない当時としては、取り付きにくく本校では私以外は一部の職員が利用していた程度である。視覚障害者が墨字を自分で書けるようにというニーズは恒常的にあり、カナタイプが一部で利用されていたが、漢字は書けず、自分では校正も出来なかった。

このような事情から、視覚障害の職員の方が新兵器の「コンピュータ」に寄せる期待も大きかったのだが、この機械は音声は出ず弱視も含む視力障害に対しては全然配慮していなかった。

しかし亜鉛板製版機以外、多量かつ高速で点字印刷が出来なかったことを打開したのも、この装置の素晴らしさであった。片面のみであったが、専用のロール紙にかなり高速で印刷出来た。但し、製本となると単票印刷の亜鉛板式より、作りにくさはあった。

保存は専用の片面の8インチF Dのみであったが、確か2,500円程度であった。当時は5インチF Dも出回ってきたように思うが、他の媒体は最後まで採用されなかった。



ブレイルマスター

余談ではあるが、かなり後に2号機というべき試作システムが開発され校内でデモも行われた。従来のような一体型でなく、パソコン、スキャナ、キーボードなど、他社製品も混在した現在のシステムに似たものであった。しかし、これが、その後、製品化されたという情報は入っていない。

(4) 翼プリンター

昭和50年後半頃、本校に設置された独立した初めてのパソコン対応の点字プリンターである。昭和50年代半ば岡山県の岡崎氏が開発したもので、初めはキーボードに打ち込むと、2台の装置に同時に点字が打ち出されるというものであったようだ。

可搬式で特定の市販パソコンで使用できたが、まだ点訳ソフトも普及していない頃であったので、校内の教材作成用に活用された程度であった。ただし、機械音が大きく使用すると他の階まで響く状態で、専用消音箱に格納して、騒音を減らした。用紙は10インチ×11インチで、現行の普及しているサイズより大きい。使用にはパソコン直結でキーを打てば即、点字が出たように思うが、確かでない。後述するTDCというソフトには各種点訳ファイルが、このプリンタで出力できる機能がつくようになった。現在は改良型が販売されている。

(5) ESA721

翼と同時期に設置されたプリンタで大きく重かったが、メーカーは当時、白雷商会だった。現在はジェー・ティー・アールとなっている。故障もあったがメンテナンスが良く、連絡すると夜半にも係りが駆けつけ、対応してくれたこともある。

連続紙で片面毎なら両面プリント出来、（途中加わったのかもしれないが）プロッタ機能があるので図形もプリント出来た。現在も使われている。その後、片面ごと、両面などの高速プリンタも発売されている。これらは多量印刷する点字図書館で設置されていることが多い。

(6) その他の点字プリンタ

アメリカ製の「ロメオ」「ジュリエット」などは視覚障害者の個人用として使われていることもある。

オーツキのBT-3000はコンパクトで比較的廉価、私個人も自宅に設置してあるが、MS-DOSのBASEで未だに使っている。片面ずつなら両面印刷出来る。

本会で主に使っているのは日本テレタイプのBPW-32と、スウェーデンINDEX BRAILLE社製 INDEX BASICで前者は校内、後者は県身障福祉会小会議室にある。BPW32は両面同時打ち、INDEX BASICもその機能はあるが両面では不具合があるので片面打ちでのみ使用している。INDEX BASICは現在INDEX BASIC-Dとなっている。現在は、多種のプリンタが販売されているが、説明は割愛する。

3. ソフトウェア

(1) 点字表記法

ここでは詳述しないが、昭和30年代前半までは現在のような煩雑な規則は無かった。昭和3年文部省が初等部用国語読本の編纂のために作成した「点字書き方二関スル法則」を見ても僅か3ページに収まっている。句読点は誤読の恐れがなけれ

ば、使わなくても良いと定め、この規則は30年間くらい改定されなかったため、現在の視覚障害の高齢者は使わない方も多い。＜※巻末資料を参照＞

(2) 本邦最初の点訳ソフト「コータクン」

点字プリンタが開発され昭和55年頃より実用機が販売されるようになり、点訳ソフトのニーズも高まった。そこで1987年（昭和62年）筑波大学附属盲教員の高村氏により「コータクン」が開発された。

その後、各種ソフトが出回るようになり、無償のものもあったので、本校関係ではあまり使われなかったように思う。現在はWindows対応のものが、8,000円程度で発売されている。

(3) IBM の点訳ソフト

開発時期ははっきりしないが、初めはMS-DOS対応の無償の「BE」が、その後有償の「BES」が、その後、Windows対応のWin-BES99が開発された。

「BE」「BES」はIBM系のAptiva、thinkpadなどのパソコンでないと使えないため、図書館及び関係者以外、少なくとも本校の点訳者では殆ど使われなかったようだ。

Win-BES99は平成11年からフリーになり、IBM以外のメーカーのパソコンにも対応したため、点訳ソフトの主流となった。その後平成15年末にダウンロード終了となったが、今でも使用している人が多い。後継ソフトは「点字編集システム」で有償である。

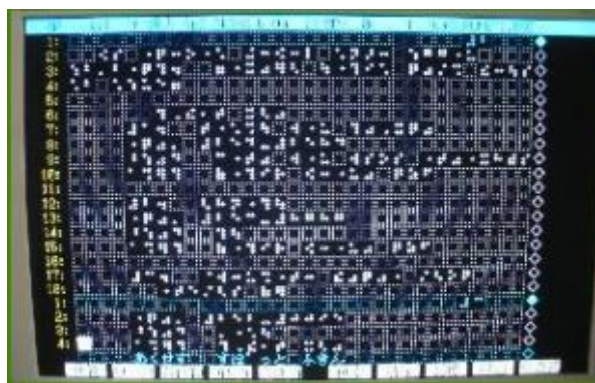
(4) ブレイルスター

ニュー・ブレイル・スターで昭和63年に開発された。県福祉関係では講習が行われたり、専用機器が館内にセットされたりして、一時期良く使われていたようだ。現在もWindows対応で発売されている。

(5) BASE

平成2年、無量寺点字出版所からBASEがフリーソフトとして発表された。MS-DOSの下で動き、大変使い勝手が良く、一世風靡の感があった。本会の会員でも多くが使用するようになった。

ただ困ったことに、平成6年当時、本校が「盲学校点字情報ネットワーク」で使用していたのはIBMのパソコンで、



点訳ソフト”BASE”の画面

BASEのファイルはアップロード出来なかった。なので次に述べるTDCでBASEのBSEをIBM-BEのBETに一々変換して送っていた。ちなみに本会で本格的なパソコン点訳図書を製作し始めたのは、平成7年である。

(6) TDC

点訳ソフトではないが、同じ無量寺点字出版所から出され、各種点訳ソフトのファイルが相互変換出来た。対象はかなテキスト、BASE、コータクン、NABCC（北米点字コード）、IBM-BE、ブレイルスターである。

パテントの問題からか、当時も異点訳ソフト間ではそのままでは、利用が出来なかった。拡張子が異なり、BEはBET、BASEはBSE、コータクンはNAB、NABCCはBRLで、ブレイルスター（初期）はBLSなどである。TDCにより、どの点訳ソフトで使われたものでも、利用者のパソコン環境に応じた点訳ファイルが提供出来るようになった。

また、点字プリンタは翼のみ出力出来るようになっていた。RS-232C経由だが、この機能は使ったことがないので詳しいことは分からない。

(7) IbukiTenC

自動点訳ソフトで2000年に岐阜大の池田氏により開発された。当初はIbukiTenという名称だった。現在は改訂は休止しているが、ダウンロードは無償で出来る。入力はテキストファイル、出力はbaseの.bseで、.besは出来ないようだ。

次の「お点ちゃん」と比べると、非常に高速で一瞬で変換する。

但し、お点ちゃんでは正しく出来るのに、「根本的」が「ネモトテキ」、「水族館」が「ミズゾク タテ」などの誤りが出る。また長音が、ときに「3,6」の点になることがある。しかし、自動点訳ソフトでも読み・分かち書きなどで完璧なもの永遠に出来ず、手動の校正は不可欠である。ならば多少の手数がかかっても無償のものでも十分役立つので、お点ちゃんと共に常用している方は多い。

(8) お点ちゃん

これも無償の自動点訳ソフトである。ホームページは2003年1月に開設されているが、それ以前に開発されたものと思う。現在は高速モードも付いているが、それでも変換に少し時間がかかり、高速ではやや精度が落ちる。しかし無償にしては、かなり正しい変換が出来る。入力はテキストファイル、出力は基本は.bseで.besも可能。

(9) EXTRA

静岡県大の石川氏の開発されたもので、現在は入力テキストの他、ワード、一太郎、HTML、PDFなど、出力は前記TDCとほぼ同様、多種類に対応している。現在のVer. 5は79,800円。

4. おわりに

点字使用者は漸減し、替わってデージーなどの音声図書が普及しつつある。しかしわが国では点字の略字とか6点、8点の点字の漢字など一向に普及していない分野もある。点訳者の養成も、その希望者の歩留まりがはかばかしくないなど、解決すべき問題は多い。本会の60周年、70周年の頃ではどのようなになっているのだろうか。

フロッピーディスク各種
(8インチ、5インチ、3.5インチ)



※オプタコン
(ディスプレイ読みとり中)

点 字 さ ん

土橋 敦子(点訳部)

小学校6年の時、持っていた私の「したじき」は、茶色のボール紙製で「アイウエオ50音表」の他に「ローマ字の50音表」が印刷されていました。それはとても珍しくて眺めてばかりいました。日本は当時戦争中でした。又、私は読書が大好きで、「本の虫」とからかわれながらも日曜日等は朝から晩まで本にかじりついていました。その頃、月刊誌は幼児・子供向け、少年・少女向け、婦人・成人向け等々出版されていて、どこの家にも数冊あってお互いに廻しよみしたりもしました。歌、漫画、実話、小説、又、探偵ものも。その探偵ものの中に「モールス信号」とか「手旗信号」とか「アルファベットの信号」等、次々と出て来て、とても面白くて、そこで早速、すぐ下の妹と二人して秘密の「信号ごっこ」をして遊びました。すると今度は「点字の暗号」…?!が――。けれど戦争はいよいよはげしくなるばかり。そしてついに終戦の日が――。しかしそれもはや今年(平成24年)で「戦後68年」とか――。

その後、御縁がありまして、静岡県立沼津盲学校の図書室へ、毎週1回2ヶ月間、通う事となった私たち主婦ばかり7人の「虹のグループ」は、当時小学部1年担任の佐治琴先生の御やさしい御指導の下に。そうしてこの時、初めて本物の「点字」さんに出会いました。もう30年も過ぎていました。点字の勉強は思った以上に大変でしたが、誰一人めげることなくがんばりました。その頃発足した「静岡県点訳者連絡協議会」に出席することになり、私たちは少しおくれて参加したのですが、県内の点訳者人口は実に「西高東低・冬型気圧」であることに驚いてしまい、早速メンバーに報告、皆もびっくり。その後、春日町の会議に出席する度、いつもいつも励まされることばかり。そして総会が静岡盲学校で開かれ、そうして『点字さん』を今は亡き清水一郎先生に教えていただいたのです。

先生の御縁で「奉仕の会」にも入れていただけました。以来、御かげ様で何事につけても一から十まで永い年月御指導を仰ぎ、言葉には表せない程御恩になって居りまして、実にここまでの私共の歩みと成長は「静岡点訳奉仕の会」を目指しての年月でした。どんな時にも暖かく穏やかで、さりげなく成長を助けていただいて参りました。心の底から御礼申し上げます。

この度は「静岡点訳奉仕の会 50 周年」本当に本当におめでとうございます。ますますの御発展を御祈り申し上げます。

点字さん

作詞/作曲：清水 一郎

1. ポツポツ紙に点を突き

表も裏も美しく

通りを揃えて字が書ける

本当に嬉しい点字さん

2. 一、二、三、四、五、六の

点を上手に組み合わせ

どんな言葉もすぐかける

本当に愉快的な点字さん



3. 定規に点筆点字板

みんな楽しく手をつなぎ

一生懸命お勉強

本当に仲よし点字さん



4. 思ったことや聞いたこと

忘れぬようにいつまでも

しっかり書いて置かれます

本当に有難う点字さん

5. 毎日学校の勉強も

点字のご本を皆読んで

立派な人になりましょう

本当に大事な点字さん



※ 昭和 17 年 3 月 3 日神奈川県立平塚盲学校
小学部 2 年児童劇「点字さん」主題歌

ボランティア考、思いつくままに

橋田 憲司

奉仕の会発足の頃

ボランティア活動は、漠然と奉仕活動を意味していることが多いようですが、最近ではボランティアということばをよく見聞きするようになりました。普段の日常会話においても自然に使われています。50年前に本会が発足した頃、「ボランティア」という言葉は一般化していませんでした。ボランティアの用語が辞書に登場したのは、昭和44年に「広辞苑」に取り上げられたのが初めてだといわれています。今となっては古風な響きのする「点訳奉仕の会」という名称はそのためです。

学生仲間で静岡市の広報紙の点字版を作成していた頃、点訳者の集まりをもちたいという盲学校からの呼びかけがあり、仲間の一人に誘われて参加しました。教頭の清水先生、係の須田先生や田村先生を中心に、何回かの準備会を重ねて、静岡盲学校点訳奉仕の会は設立されました。（発足時の会の名称には学校名が冠されていた。）当初の主な活動は点訳講習会の開催でした。会場の音楽室は受講者でいっぱいになり、不足分の長机や長椅子を他の教室から運び入れて会場を設営しました。唯一私にできた貢献です。講習会とは別に、多くの高校生グループが点字の練習のためによく学校を訪れていました。学校がこの会を立ち上げたのも、日常業務の中では点字を習いたいという希望者に対応できなかったからであったようです。

現在、静岡市内の各家庭に、月2回配布される広報しずおか「静岡気分」の発行部数は 264,000部だそうです。その点字版については毎回32部、別に2回を1回に縮訳したもの80部が、希望している方に配布されているそうです。静岡での広報紙の点訳は、今から50年前に学生たちでそのダイジェスト版を作ったのが、多分最初でしょう。市内鷹匠町で治療院を営む女性の方から、広報紙の情報をタイムリーに得たい、そうすればお客さんとの会話も広がる、と聞いたのがきっかけでした。お届けした点訳ダイジェスト版をみなさんに回覧して喜ばれたと聞き、学生仲間を集めて次回から同じものを数部作成するようにしました。後に、広報紙点訳のきっかけを与えてくださった方が、偶然にも静岡盲学校の同窓会長さんだったということを知り、ご縁を感じた次第です。

今では、多くの市町が広報紙を点訳しています。県民だよりもそうです。グランシップにも点字で書かれたイベントカレンダーが用意されています。エレベーターやタクシーの中にも点字の表記を多く見かけるようになりました。

発足の頃の昭和30年代後半といえば、高度成長期に向かい始めたころです。当時、盲学校西側の新幹線下をくぐる道路工事が進められていたのを覚えています。その頃から我が国のボランティア活動が拡大していったそうです。その原動力となったのは主婦のみなさんによるといわれています。

会がスタートして間もなくの頃、東京の日本赤十字本社で開かれた日赤点訳奉仕団の全国の集まりに出かけたことがありました。会場内はほとんどが主婦と呼ばれるみなさんでした。一人学生服姿で気後れしながら参加していたのを、今でも思い出します。そこでは、地域によって違っている点字表記を統一できないか、点字用紙が白一色であることで目に負担がかかるのではないか、講習会参加者のうち実際に活動に参加してくれるのは100人に一人くらいであることなどが、話題になったように記憶しています。点訳奉仕の会においても、富士の渡辺チカさん、静岡の夏目文江さんや大村楠さん、そして藤枝に転居した青木シズエさんといった方たちが中心となって点訳してくださっておりました。正に主婦のみなさんでした。

ボランティアの性格、無償性と利他性

点訳図書の作成に続いて録音図書作りも始まりました。カセットテープが徐々に普及するのと同合わせ、要望も多くなっていったように思います。初めのうちは、録音技術が稚拙でも聞いてわかればよいといっていました。聞き手の身になって作成したいということで、点訳講習会と並行して録音講習会が開かれました。NHKのアナウンサーを講師にお願いし、しばらく継続して技術指導を受けるようになりました。

昭和40年代の終わりとともに高等部が浜松に統合されていったこともあって、百数十人いた生徒数は徐々に減少していきました。一方で弱視の生徒さんの割合が増え、点字本と並んで、拡大図書が求められようになっていきました。今のよう拡大コピーは普及していませんでしたので、すべて手書きです。文字の大きさはどの程度が適切か、線の太さはどうか、用具は何を使ったらよいか、新しいことは常に試行錯誤で始まります。先行した取組みを参考にしたいと平塚盲学校を訪問したりもしました。思いがけないことに、拡大図書作りは、盲学校との交流校であった西豊田小学校の保護者によるPTA活動へと波及しました。さらにいくつかの学校の家庭教育学級で取

り組まれていきました。拡大図書の作成は、点字や録音のように新たな技術を習得しなくとも、身に付けている技術で取り組めたことも幸いしたのかもしれません。

いうまでもなく、ボランティア活動というのは、何か利得を得たいという動機づけによってではなく、無償であることを当然としての行動です。少なくとも金銭的な報酬を得ないことを前提にしています。いわゆる奉仕です。しかも、利他的であることです。他の人たちのために、あるいは社会のために何かをするということを優先させるという前向きな心性を合意しています。極端に言えば、自らを犠牲にしても困っている人、力のない弱い人のために尽くしたいという気持です。どこまでもサービスの受け手本位であります。生徒のみなさんのニーズに応じる形で会の活動が広がっていったのは、こうしたボランティアのもつ性格によるのでしょう。

ボランティアの性格、開拓性

「ボランティア」を辞書で引いてみると「志願兵、義勇兵の意」と書かれているものがあります。もともとの語源は、自由意志という意味のラテン語「ボランタール」だそうです。また、オックスフォード大辞典によると、17世紀の半ばイギリスでは市民革命による社会の混乱の中で各地に自警団が組織されたそうです。そうした自警団に自ら率先して参加していった人たちを指してボランティアということばが使われたのが始まりであると記されています。古典的ともいうべきボランティアは、圧政から市民社会を護るために、あるいは国家の独立のために、自ら武器をとって社会の発展を支えた市民であったといえます。この精神が、世界のボランティアやその活動に引き継がれているわけです。昨今のNPOやNGOの活動理念もそうです。

ボランティアの精神は自由であります。強制されたり束縛されたりするものではなく、自発的で自由な意思によるものです。ですから制約や利害にとらわれずに活動できます。そこには、先駆的であることへの期待があります。学生の自発的な活動で始まった広報しずおかの点訳は、今、公的なサービスとして提供されるようになりました。奉仕の会が担ってきた点字講習会も市役所が実施するという形になっていきました。もちろん今も会の活動として全面的に協力していますが。手元の広報しずおか9月1日号に点字講習会参加者募集の案内が掲載されています。ボランティア活動に、新しい公共サービスや企業サービスを生み出すといった、いわば社会変革への働きが期待されるのは、こうした創造的な先駆性や開拓性によるのでしょう。

ボランティアの変貌と第三の公共

東日本大震災による被災地では、今も多くのボランティアが活動を展開しています。平成7年に起こった阪神・淡路大震災の後、150万人ものボランティアが集まったといわれます。その人数の多さと活動ぶりに対して、マスコミではボランティア元年と呼んで話題になりました。平成10年「特定非営利活動促進法」（NPO法）成立の背景になったことも確かです。今では、福祉中心のボランティアから災害ボランティア、街づくりボランティア、環境ボランティア等々へと、様々な分野に広がり、多くの市民が活動しています。静岡県のNPOは、静岡、浜松両市を含め、認証数 1,123組織を数えています。（平成24年7月31日現在）

ボランティアやNPOは、市民社会がそれを生み、支えてきたといえます。逆に、ボランティア活動が、この社会を支え、さらなる発展に向かわせるために不可欠なものになっているともいえます。そして、変化する社会とともにあって、新しい意味を追加するようになり、その相貌を変化させています。有償ボランティアとかプロフェッショナル・ボランティアなどのことばが典型的に示しています。無償の奉仕とか素人の熱意といったような価値観や定義とは相いれなくなっている面があります。

また、利他的とか愛他的ということばだけでは、昨今のボランティア活動の幅広く奥深いところを説明できないように思います。ボランティア活動の動機を学生にたずねると、将来の就職のためとか、キャリア・アップのために参加しているといえます。新たな生きがいを見つけるためだという人もいます。高齢者にも、現役サラリーマンにもいます。自分のことをもっと知りたい、自分の中の可能性を探りたい、自己実現を図りたいという気持ちが、活動に参加させているといえます。旅行やスポーツと同じように、本人の楽しみのために、いわばレジャー感覚で活動しているという主張もあるくらいです。活動は社会性や公益性を備え、非商業的であっても、企画によっては交通費や弁当代くらい支弁しないとボランティアが集まらないとも聞きます。

近年、行政による公共サービスだけでは、ますます複雑化する社会の需要を満たすことが困難になってきています。高齢化が進む社会にあって、十分な財源と人手が用意されなければ、量的にも多様性にも対応しきれなくなっていくことは誰の眼にも明らかです。そこで、ボランティアやNPOがそれを補足しようというのです。不足するところを互いに補い合って補完するというわけです。福祉の穴埋めの安上がりなサービスとしてではなく、国家や企業社会に対置される「第三の公共」とか

「第三のセクター」ととらえられ、ボランティア、NPOはその担い手として注目されているのです。

ボランティア活動の魅力と弱点

この活動には、ボランティア自身の生きる世界を広げ、活力の素になっている面があるといえます。大村楠さんは、「毎朝、机に向かって点訳を続けてきたことが元気でいられる秘訣です。自分の好きな本を読むことができる上に、点訳した本を誰かが読んでくれたら、なお幸せです。」と、生前によくおっしゃっていました。ボランティア活動では、自分の特技を生かして、仲間と共に役割が得られ、生きがいを感じることができます。そんな互恵的な性格を秘めた魅力があります。一方で弱点もあります。苦勞して点訳しても誰がいつ読んでくれるかも分らないことから、続けていくことへの気持ちが萎えてしまったという方もいます。ボランティア活動は、自分の意思で自由にかかわり方を決められるものです。ここまですれば十分だという一律の基準があるわけではありません。かかわりの責任は自分自身が背負います。このあたりの現象を「自発性パラドックス」と呼ぶ識者もいます。「ねばならない」となって、日常生活とのバランスを失うと、この活動の魅力も急速に色あせていきます。活動を止めてしまうのは、こんな時が多いようです。組織としての危うさもそこにあります。強力で熱心なリーダーを失ったりすると、いつの間にかグループが解消するケースはよくあります。

ボランティアグループは、活動の意義に賛同し自発的に集まったメンバーで構成されています。きわめて自由度の高い組織です。そうした組織である「奉仕の会」が半世紀という永きにわたって継続できたのは、静岡盲学校という普遍的な組織の存在とその支えがあったからです。もう一つは、発足5年目から30年間にわたって会長を務めてくださった田中ちゑ氏の物心両面にわたる功績が大きかったと思います。

紐帯を維持したグラスルーツとして

点訳板に用紙を挟み、点筆を握って一文字ずつ打っていた点訳も、今はパソコン点訳です。文字の拡大も、倍率を変えて自由な大きさにコピーすることができます。数年前に、いわゆる「教科書バリアフリー法」（「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」）が制定されました。点字教科書や拡大教科書等の提供を国の責務や出版社の義務とし、その普及を図ることを定めています。

出版社の義務を努力事項にとどめている代わりに、デジタルデータを教科書作成者に提供するように義務付けているのは、その作成をボランティア団体等に期待しているからでしょう。また、文字と音声を同期させたデイジー（DAISY）版教科書がボランティア団体等によって作成されるようになってきています。このデイジー図書は、視覚障害の人だけでなく、文字を読むことに困難を感じている発達障害があるとされる人たちにとっても活用効果が注目されています。これからは点字図書館だけでなく、公共の図書館にもデイジー図書が備えられるようになっていくだろうと思います。デジタル化された資源が有効に活用され、誰もが手軽にバリアフリー化された著作物を読むことができるようになることを期待しています

点訳や録音のための技術は進歩し、用具もソフトウェアも開発されてきました。法制度も少しずつ整備されていきます。しかし、そこに人が適切に介在しなければニーズに応え、需要を満たしていくことはできないわけです。社会は、いつの時代にあってもボランティアと呼ばれる人たちとその活動を必要としています。

組織を拡大し事業を発展させることが、すべてのボランティア活動に求められているわけではないでしょう。小さくてもよいから、仲間や学校との強い紐帯を維持したグラスルーツ（草の根）として、社会のために地道な活動を続けるという選択肢もあるでしょう。50年を振り返って思うところです。



パソコン点訳グループ「ぱそぴあ清水」 ご紹介

釜下 晃

メンバー：視覚障害者 5名、点訳サポート 13名

発 足：平成11年11月1日

連 絡 先：代表 庄司豊明（はーとぴあ清水 ボランティアセンター 054-371-0290）

点訳内容：楽器の説明書、障害者協会の総会資料、健康に関する本、福祉に関する書類、障害者スポーツフェスティバルのプログラム、「はーとぴあ清水」で開催の交流まつりのプログラムと館内案内図、JR駅時刻表（清水・興津・東静岡）、グランシップイベント情報（隔月）、障害者サポートセンター「そら」機関紙（毎月）、新聞切り抜き（毎月）、小説など

会員募集：随時

.....

平成2年旧清水市社会福祉協議会開催の点訳講習会に参加したメンバーで、点訳グループを立ち上げ活動を続けてきました。

平成11年に旧清水市で社会福祉会館「はーとぴあ清水」を建設し、点字プリンターとパソコンを会館に設置して頂きました。それを機会にこれからは、パソコン点訳が大事だということと、視覚障害者の方に点訳文を早くお届けしたいという気持ちで、それまでの点訳グループから5人と、視覚障害者の方5人で、パソコン点訳グループ「ぱそぴあ清水」を立ち上げ、共助の心で進んでまいりました。依頼された書類は即、点訳しお渡しするをモットーにメールで校正をし合い、点字プリンターで打ち出し、お届けしています。この、立ち上げの時、視覚障害者のパソコンのサポートにも出向きました。

点訳内容の新聞の切り抜きは、この記事は読んでいただけるかメンバーで話し合い、進めています。毎月、点訳文にして100ページ位で、目次も付けます。視覚障害者の方から「あの記事は面白かった」「これは楽しかった」という声を言葉で頂いたり、メールでいただいたり、点訳させていただいていて、良かったとメンバーも嬉しく、励みになっております。

「ぱそぴあ清水」を長く繋げたいと思いますので、メンバーは随時募集しています。

点訳グループたんぽぽ ご紹介

会員数 : 11 名

発 足 : 昭和 56 年 2 月

連絡先 : 電話 054-285-8573 (会員は随時募集中)

.....

点訳グループたんぽぽは、昭和55年度の静岡市が実施した点訳講習会と、視覚障害者支援グループが主催した点訳講習会の修了者が、市社協の肝いりにより合同で参加し、点訳のプライベートサービスを行うグループとして発足しました。その後、自主的に講習会を開催して、会員の増強を図り今日に至っております。

また、活動面においては、小中学校からの要請により、総合学習の一環として、点字の基礎を通して福祉体験と啓もうを図ったり、また、視覚障害者をメンバーに加えて、利用者の立場からの御意見をうかがい、点訳物の方向性を探ったりしながら、点訳の研さんに励んでまいりました。活動としては、点訳そのものはメンバーが各自自宅で行い、疑問点を月2回ボランティアビューローで行う定例会で出し合い、会としての方向性を出して解決を図ってきています。

小さいグループですが、平成23年には、県知事表彰をいただき、さらなる発展をメンバーそれぞれ心に期しています。



点訳クラブ・モーゼル ご紹介

会員数：11 名

発 足：平成 5 年 4 月

.....

発足当時は、アイメイトの会のサポートを兼ねながら点字器で商品の取り扱い説明書、カタログ、専門書、料理のレシピ、地図、自販機の料金、読み物など、利用者のニーズに合わせて点訳してきました。

現在はパソコン点訳が主で、ほとんど書籍の点訳です。利用者から依頼されたもの、会員各自が選んだものなど点訳し、データをアップロードして提供しています。

毎月一回の定例会ではお互いに点訳上の問題点を出し合って話し合い、手引きの勉強会なども続けながら、できるだけ利用者にとって使いやすいものになるよう心がけています。

今後はもう少し幅広い分野のものを手がけ、利用されるようになるといいと思っています。



清水点訳グループ「あかつき」 ご紹介

会 員 数：25 名

発 足：平成 2 年

会員募集：点字経験者は随時入会歓迎、初心者は市の点字講習会実施の後

連 絡 先：清水ボランティアセンター 電話 054-371-0290

.....

私たち清水点訳グループ「あかつき」の会は、昭和63年度清水社協主催の点字講習会がきっかけとなり、その時の受講生が2年後にこの会を結成しました。静岡点訳奉仕の会のご協力もいただきながら22年間が経過して今に続いています。当初は会員の活動もほんの一点にすぎないものであっただろうと思いますが、それが、やがて線となり、他のボランティア団体とも協力して、視覚障害者の皆さんと一緒に生きてゆくことを目指して頑張っています。会が結成されて以来、次の四つの活動を通して、続けることの意味とその大切さを実感しております。

〈 点 訳 活 動 〉

「みなとだより」、「ボラセン情報」などの情報紙を毎月点訳配布し、「ゴミの出し方便利手帳」など身近な生活情報、資料、新聞コラム、小説などの書籍の点訳も手掛け、地域の視覚障害の方々のご要望に答えるよう努力しています。

〈ふれあい活動〉

視覚障害者参加のハイキング、親睦旅行、新年会などのガイドや交流を図ることによって、視覚障害の方々とお互いの生活の一こまを共有できたらと考えています。

〈広める活動〉

福祉のまつり、市民交流まつりなど行事の中で、一般の方々の点字体験コーナーを設けたり、小中学校の福祉体験授業で点字指導のお手伝いをすると共に、静岡市点字講習会やアイボランティア入門講座などへの協力をしております。このような事を通して、多くの方々に点字への理解を広げることも重要な課題となっています。

〈学 ぶ 活 動 〉

毎週水曜日の定例会は、私ども「あかつき」会員の学ぶ場所でもあります。入会初心者向けの点字講習会を行ったり、会員同士、疑問点を出し合うなどして、常に点訳の内容向上に心がけ、正確な点訳の仕方を学び、障害者の方々と向き合うすべを学び続けています。



小学校で点字教室の講師として指導



福祉の祭りで点字の葉作り等を指導

点訳奉仕の会50周年おめでとうございます。私は今まで、点訳奉仕の会のみなさんには、本当にお世話になりました。私が読みたい本の点訳をしてくださったり、雑誌や広告などの点訳をしてくださったりと、墨字を読めない私が「点訳お願いします」と頼むと、すぐに点字になって私のところに届きました。とても助かっていたし、みなさんに感謝しています。

私は、勉強の合間や息抜きなどにみなさんが点訳してくれた本や雑誌を読んでいた。本を読んで息抜きすると、その後の勉強がはかどり、頭に入りました。また、私は小学1年生の時に、本を読むことが嫌いでした。それは、点字をまだあまり覚えていなかったもので、読む速度も遅かったし、内容が頭に入らなかったもので、読んでいても楽しくなかったのです。しかし、点字がガンガン読めるようになってきて、本を読んでみようという気持ちになりました。

私がここまで点字を読めるようになったのも、本を点訳してくれたみなさんのおかげです。

本当に今までありがとうございました。また、本や雑誌の点訳を頼むことがあるかもしれません。その時は、よろしくお願いします。

平成24年2月28日

静岡県立静岡視覚特別支援学校

中学部3年 鈴木 萌依



50 周年に 寄 せ て

酒井 康子（利用者）

私が「静岡点訳奉仕の会」のことを知ったのは、多分、発足してあまり日が経っていない頃だったように思います。ついこの間のことのようにも思うし、ずうっと昔のことのようにも思います。

静盲の創立50周年は、小学部2年の時でした。その頃に聞いた「50年」という言葉は、想像も出来ないような、遠い遠い昔のこととして頭に残りました。同じ50年という言葉にも、「点訳奉仕の会」のそれは私の人生の歩みと重なりますので、その響きが全然違ってまいります。

仕事、結婚、育児などなど、ばたばたと日が過ぎていく間に、50年の月日が流れ、私も高齢者の仲間入りをしました。

初めて本を読ませていただいたのは、確か下の息子が3歳ぐらいの頃だったでしょう。子供たちが寝静まって、やっと訪れた自分の時間にわくわくしながら、お借りした本を持ってはみるのですが、すぐに襲ってくる睡魔に、毎日同じところを読むばかりで、「私はもう本なんて読めなくなっちゃったかしら」と思ったりしながら、いつしか時が流れて、子供たちが学校や保育園に行っている時間を利用して、少しずつ読書の時間が延びていきました。郵便局が近かったことも幸いして、毎週1冊くらいのペースで本をお借りすることが出来るようになった時の喜びは、とても大きなものでした。「すてきなあなたに」「風の盆恋歌」「マジソン郡の橋」次々に送っていただく本を、本当に一生懸命読みました。

そのうちに個人的に希望するものがあれば、それも点訳して下さるということをお聞きして、知人が編まれた歌集やCDのジャケットなどを点訳していただき、今も大切にしております。

「静岡点訳奉仕の会」の地道な歩みは、私たち視覚に障害を持つ者の読書環境をかなり豊かにして下さいました。私がここに書かせていただいたことは、ほんの一部に過ぎません。数多くの視覚障害者が、公私共に墨字の世界とのパイプ役として沢山の御恩をいただいていることと思います。

形としての点訳物は、やがては無くなってしまうかもしれませんが、御恩を受けた私たちの心の中には、ずっと残り続けるものだと思います。

末長く、愛の奉仕をお続け下さいますよう、心からお願い申し上げます。

（原文 点字）

サ プ ラ イ ズ

山田 馨（元会員）

静岡点訳奉仕の会が発足して50年経っていると、風の便り（？）で聞きました。「視覚に障害を持つ方に、1冊でも多く本を読んでいただければ」と、若い情熱を燃やして会員になりました。多分大学の2年か3年の時だったと思います。点字の50音を覚えることから始めて、数字やアルファベットまでなんとか打てるようになって、小さな詩集を点訳してみました。1枚ずつ紙を折った所に糊を付けて貼り合わせ、ご指導を受けながら表紙や目次を付けて1冊の本が完成した時の達成感は、今でもはっきり覚えています。ちょうど機会に恵まれて、それを全盲の方に指で読んでいただきました。「私が打ったものがちゃんと言葉になっていて、しかも指で読んでもらえてる!」。本当に心から感動しました。それからしばらく、その人との文通が続きました。一言も言葉を交わさずに、お互いの思いを伝え合うことの素晴らしさ! ルイ・ブライユ先生や石川倉次先生の偉業に、改めて賞賛の拍手を送りたい気持ちでした。

就職を機会に、その方との文通もだんだん遠くなり、ただでさえ歩みの遅かった点訳は、益々出来なくなっていました。けれども視覚障害者の方のことは、決して忘れることはありませんでした。

ある日、電車から降りた時、止まった位置がいつもと違っていたのでしょうか。改札口へ通じる階段を探していらっしゃる方が見えました。私は思いきって声をかけてみました。

「階段お探しですか?よかったら一緒に行きましょう」 その方はとても喜んで下さいました。そんな時、声を掛けることは目立ちたがりやに見られたり、格好だけ付けている人だと思われたりしないかなど、いろいろ考えると勇気が無くなってしまうことが多いのですが、その時の経験が私に勇気を与えてくれました。「そうだ点訳はずっとご無沙汰になってしまっているけれど、こういうお手伝いならまだ私にも出来るかもしれない」。それ以来そんな機会に巡り会うことがあると、努めて声掛けをさせてもらうようにしています。点訳は落ちこぼれだったけれど自己満足でも少しは役に立たせてもらえるだろう。そんなことを考えてから、もう何年経ってしまったのでしょうか。偶然出席した会合でたまたま点字の話が出ました。「私も実は昔少し点訳を習ったことがあったんですが」と言うと、

「えらいねえ。あんな面倒なもの、よく習う気になったね。この間ちょっと聞いたんだけど『点訳奉仕の会』っていうのがあって、それが50年も点訳や拡大図書を作り続けている

んだってさ。とても真似の出来ないようなことを、そんなに長くこつこつと続けている人たちがいるんだよなあ。」 友人の言葉に私は愕然としました。半世紀もの長い間を、途切れることなく存続して下さっている。ただただ頭の下がる思いでした。

50年という年月は一つ一つ点字器で手打ちしていた時代から、タイプライターの出現でかなり速度が速くなりました。最近はパソコンでの点訳が出来るようになり、いろいろそれに関するソフトも開発されていると聞きました。落ちこぼれの私には到底ついていけない世界になりました。音声訳の図書や雑誌も出回っているようですが、視覚障害者の文化の基礎となるものは、やはり点字だと思います。えらそうなことを言える立場の人間でないことを踏まえての上で、声を大にして言わせていただきます。

いろいろなことがあると思いますが、どうぞ末永く会をお続け下さい。



以下は、静岡点訳奉仕の会創立10周年を記念して発行された「むつぼし」に掲載された記事である。40年前の思いを今に伝える貴重な資料でもある。

静岡点奉の今後への期待

清水 一郎

一年一昔

昔は「十年一昔」と言われたが最近10年どころか5年はおろか一年一昔の観のある世相急変の中で我が静岡点奉も誕生今昔を経たか？ 今更感慨無量である。発足当時からの目ざましい発展、誠に喜ばしいがその間会員の奉仕の力はまた偉大と言わねばなるまい。点訳の苦心、時には自分からも又関係者からもその功績と骨折りを見なおさなくてはならないと思う。たゞ一言「点訳」と言って簡単に片付けてその恩に馴れ過ぎてはいないかと案じられるのである。学校の先生も生徒も時にはつくづくと思いを到して見なくてはならない。そこで今後への希望と共に過去をも振り返って見たいと思うのである。

私は今静岡県点字図書館で2年余になって専ら点字本の充実をはかり点訳奉仕者養成に力を入れ点字指導を担当しているが、これも40年近い盲学校生活の賜と感謝して精進している。そしてこの仕事から奉仕者の尊い姿を拝み心から有志の方々の労を想うのである。それだけに又苦心の作を有意義に活かさなくてはと常に心掛け同時に静岡点奉の皆様にも改めてお聴きいただきたい日頃の願いを持ち続けていたので極くあたりまえのこととは思いますが次へその中の幾つかを挙げさせていただく。

これからの活動にのぞむ

10年の歳月の歩みと共に風雪に耐え或はブームに乗り或は壁に突き当たり今日の隆成を見る時、その受入れ側の並々ならぬ配慮も俾ねばならない。点字使用者の激減、学制の改革、県内盲学校の整理統合等、移る時代の流れである。この辺で我々点訳有志は堅く手を握り合って明日への道を開拓しなくてはならない大事な使命を痛感するものである。

1. 広義の点訳奉仕

「学校〇〇門を出ず」、昔から言い伝えられているが図書も又埋もれてはいないか？ テレビ時代にどうなっているだろう？ 学校に性教育をと今頃になって騒がれる。知らないものは親（学校）ばかり！ 本屋でも駅の売店でも大衆はどんな本を気軽に買うだろうか？ 盲人には絶対入手不可能な本であり学校には置けない本である。誰れも点訳してくれない本である。晴眼者の生徒は勿論、児童まで読んでいるではないか。良かれ悪しかれ皆読むのである。そして自由に自分自身を修める糧として本の重要な役割を知っているのでありその中に教育の適切な指導もあって円満な人格や温かな人間像が期待されるのである。全国の点字出版界も近時ようやく盲人宿願の強い要望に応じ始めている。

「盲人は読む本がない」「読みたい本は点訳されない」「盲人も人並みの本を読む自由がある」、在校生向け結構、更に分野拡大社会人となった卒業生宛でもよろしい、思い切ってこの方向へ注目、点訳の勇氣と決断に踏み切って見る必要、急務が痛感される。

卒業生向き家庭的なもの

専門書（特に理療科関係）難解であるが

通俗成人向き（性を巧みに扱ったもの）

卒業生向け図書コーナー新設（校外会員輪番で週1回整備貸出しの処置）

2. 点字以外の活動

県内各地域に15, 6の点訳グループがあり夫々点字によって心を結び温い有志団体として盲人以外の身障をも含めて美しい活動が行われている。更にこれ等が集って静岡県点訳者連絡協議会を作り横の連絡をもち我が静盲点奉もその一環を担っているのである。10年の経験と実績の上に立って次に挙げるようなことを考えて見てもよいと思われる。

点字の苦勞で結ばれる知る者同志の仲間として他のグループ活動を参考にバラエティーに富んだ方面へも視野を広げる。

点訳なり録音なりで個人的要望に応ずること。特に中途失明者多発の近時点字の読み書き不能の場合カセット時代を活用、さ程の技術がなくてもその切なる希望が叶えられる。

同好の仲間が点訳の苦勞話、その他を気軽に持ちより互いに慰め励まし楽しみながら明日への意欲を結ぶ（研修、講習、役員、総会等の枠から開放されて）

学校依存、先生の指導などはとにかく気がねだろう。先生時には「可愛い子に旅を」で手から離れのびのびした校外活動も嬉しいもの

3. 終りに

最後に「本会の戒名にこだわるな！」と喝を入りたい。会の立派な名称のため時代の進展から取り残されてはならない。「静盲点訳もの好き仲間」（点訳者は良い意味の変り者）とでもリラックスして気楽な巾広い温かな道を拓いて行けば過去10年の歴史と偉業が一層輝やくことであろう。

----- * * ----- * * ----- * * ----- * * -----

私の点訳奉仕

渡辺 チカ

12年の歩み

昭和36年9月 日本点字図書館、点訳奉仕会入会

昭和37年9月 静岡盲学校点字講習会参加（孫出生）

昭和38年6月 静盲点訳奉仕の会結成総会、出席

兼松校長、点訳奉仕によせて 「六つ星にたくす盲の心思へば
われわが幸をさゝげんと思ふ」

8月17日 ライトプレーラ購入 7190円支払

10月13日 体育祭見学 余興参加

12月20日 会報第1号発行 点訳書紹介

小林映子2冊 宮城島道子2冊 稲葉充子4冊 渡辺チカ4冊
計12冊

昭和39年 会報第2号発行（孫出生）

4月19日 大昭和製紙KKより点字紙寄贈

5月17日 第1回総会 宮城島英子氏奉仕会会長に就任せらる
日本点字図書館 通信講座資料提供

昭和41年3月 兼松校長停年退職せらる

5月23日 第3回総会 出席

三須淳校長就任、御講話あり

通信講座終了者16名 会員バッヂ購入

昭和43年	第5回総回 白鳥（旧姓宮城島）会長辞職 田中ちえ子氏新会長就任、同日講習会開催参加者100名余 図書室参観して散会、出席
昭和44年	第6回総会出席
9月	静岡県立図書館発足
昭和45年	第7回総会出席（病夫黎弼死去） ライオンズクラブより製本器寄贈
7月16日	点訳奉仕者懇談会 福祉事務所会議室参加
11月15日	学芸会見学
昭和46年6月	図書館にて静盲第8回総会出席 静岡県点訳者連絡協議会発足総会 富士市福祉課へ連絡する
昭和47年3月	三須校長沼津盲学校へ転任 新井 安校長就任せられ 清水教頭点字図書館へ就任 樽林先生教頭就任せらる 第10回総会出席

動 機

5男3女あり昭和12年長男入営。中支にて負傷大津陸軍病院傷痍軍人なれど退院後直ちに満州開拓団指導員として入植獣医となり現地召集戦死。嫁と孫引揚途中新京にて死去。父は1年志願の将校の為役所人員不足の為終戦迄の約束にて主に兵事係となり青少年義勇軍編成の時4男中学1年15才先遣隊にて青年層に混り、渡満訓練所から入植後18才となり軍隊志願の為帰郷、静岡連隊入営、伍長にてガム島に渡り戦死。次男静岡入営し3男も入隊。兄弟一処に兵営生活し3男はガダルカナル島にて戦死。次男は満州派遣後除隊警察官となり度々の名古屋空襲出勤に九死に一生を得健在。長女は日赤甲種入所、浜松陸軍病院勤務中終戦。主人は戦死者遺族に責任を感じしか一歩も外に出ず引籠り、吏員が家へ仕事を持ち込み相談せり。私は寝食を忘れて働く事12年病1年。5男に嫁を貰った。私は何もかも忘れて打込む仕事を探す。

身障者で働き乍ら9年点訳を続ける婦人を知り点字図書館に入会する。大阪徳田様。昨夏、徳田さんに面会する。40才位の身障者らしい主人と娘3人暮。点訳20年、今も大作に取り組み中でした。

----- * * ----- * * ----- * * ----- * * -----

当時を思いおこして

前会長 白鳥 英子

皆様の善意と努力で、点訳奉仕会が、満10周年を迎えますことは、御同慶にたえません。

おもえば、昭和34年の秋、笠原昭男先生の御指導で、始めて童話を点訳し、一年に一冊でもいゝ、静岡の盲学校に寄附して下さいと依頼されて、時には夜を徹して、タイプを叩いた日々を、懐かしく憶い出します。

志を同じうする者同志の集りは、絶える事なく今日迄続けられ、愛と真心の結晶が、幾冊もの本となって、次第にその数を増してゆく様を、何時も、田村みつ子先生から御知らせ頂いて居ります。

当初、奉仕者は、1枚1円で点訳用紙を求めて、郵送にも、1キロ1円の切手をはって出したものです。資金カンパの為に、バッチを作って、一般の人々に協力を呼びかけた事もありました。

生徒達は、自分達の点訳書を、どの様に読むのかしら、どんな本を読みたいのだろうという、会員の声に、交歓会を開いたとき、盲人の子供達の、意外に明るい表情や動作に救われ、何のよどみもなく、スラスラと会員の訳した本を読みあげて、一同を感動させました。

あの子供達も、今は立派な社会人となって活躍していることでしょう。

点訳は、忍耐のいる地味な仕事ではありますが、あの深いよろこびは、訳者のみ味わうことの出来る、素晴らしいものです。

今後共、皆様の御活躍を期待して居ります。



1. 県内視覚障害者関係ボランティア一覧（図書関係）

名 称	地区	活動内容	結成	代表者	連絡先
点訳グループたんぽぽ	静岡市	点訳	S56	島村 博章	054-285-8573
静岡点訳奉仕の会	静岡市	点訳、音訳、 拡大	S38	松原 幸男	054-283-7300 静岡視覚特別 支援学校
点訳クラブ・モーゼル	静岡市	点訳	H5	稲垣 鈴江	054-246-2408
静岡市点訳赤十字奉仕団	静岡市	点訳	H6	望月 康広	054-252-8131
静岡市立図書館音訳ボランティア 南部ひびきの会	静岡市	音訳	H4	稲垣 洋子	054-237-2464
録音ボランティア ふれんど	静岡市	対面朗読、録音	S57	小西 弘美	054-366-0899
ぱそびあ清水	静岡市	点訳	H11	長澤 千恵子	054-365-3240
せせらぎの会	静岡市	点訳、音訳、	S59	坂入 慶子	054-388-3341
ピッコラ	藤枝市	点訳	H10	杉山 とし子	054-641-8886
沼津木星会ささぶね	沼津市	拡大	S54	関 美代子	055-951-0018
アイボランティア沼津木星会 点訳グループ かたつむり	沼津市	点訳	S53	半田 はる	055-962-3655
アイボランティア沼津木星会	沼津市	点訳	S44	露木 廣幸	055-922-3996
録音グループ「オカリナ」	沼津市	録音	H7	鈴木 寿子	055-951-1325
アイボランティア熱海漁火会	熱海市	朗読、音訳	S55	河瀬 トキ	0557-82-0636
録音グループ ” やまなみ”	三島市	朗読、	S59	関口 啓子	055-977-3466
音訳サークル「アイ・あい」	三島市	音訳	H14	遠藤 恵子	055-977-3354
点字サークルすぎなの会	三島市	点訳	S53	高橋 洋子	055-972-3221
いず・かたつむり	伊豆の国市	点訳	S60	永田 文代	0558-76-4514
御殿場市点訳グループ	御殿場市	点訳	S58	佐々木 吉満	0550-88-1915
録音朗読グループすそのうぐいす	裾野市	朗読、音訳	H1	磯村 聡子	055-998-0708
函南町ボランティア連絡協議会 点字グループ	函南町	点訳	H10	佐伯 麻美子	055-978-9288
しゃくなげ	河津町	録音	S62	吉野 登代子	0558-32-1195
音訳ボランティアC3P0	富士市	音訳、録音	H14	嶋津 喜美代	0545-51-7812
やまびこ5日号	富士市	音訳	S52	望月 房子	0545-32-2058
やまびこ20日号	富士市	録音		熊谷 良子	0545-64-7100
菊川文庫朗読の会	菊川市	朗読	S63	井出 喜代子	0537-36-4950
六つの星	掛川市	点訳	S59	鈴木 江美子	0537-23-3917
音訳サークル ” こだま”	掛川市	音訳	H12	鈴木 さと子	0537-48-2821
磐田点友会	磐田市	点訳	S55	鈴木 友紀	0538-34-1098

名 称	地区	活動内容	結成	代表者	連絡先
拡大図書ボランティア 「もくみん」	磐田市	拡大	H15	鵜飼 正枝	0538-66-1189
ふきのとう	磐田市	音訳	S61	武部 貴美子	0538-34-9684
音訳 なずなの会	森町	音訳	S50	林 千春	0538-85-2096
ひまわりの会	浜松市	点訳	S56	松山 里美	053-586-8341
点訳 虹の会	湖西市	点訳	S59	田内 訓子	053-578-2264
サークルラブリー	湖西市	音訳	S54	鈴木 弘子	053-594-1415
湖西市グループ・ペン	湖西市	拡大	S60	菅沼 美智子	053-575-0294
サークル てんとう虫	湖西市	点訳	H1	山本 さち子	053-594-5128

静岡県ボランティア協会刊「2011静岡県市民活動団体・ボランティアグループ名簿」より抜粋



ルイ・ブライユ

2. 昭和3年点訳指針

盲学校初等部用国語讀本 點字書キ方ニ關スル法則 (昭和三年 文部省)

一. (い) 名詞 代名詞 數詞、動詞、形容詞、副詞、接續詞、感歎詞ハ、ソレゾレ綴トシテ書ク。

[例] ヒト (人)、ガッコウ (學校)、スイライター (水雷艇)、ワタクシ (私)、ヒトツ (一ツ)、オドロク (驚ク)、ベンキョーセリ (勉強セリ)、サムイ カゼ (寒イ風)、タイヘン サムイ (大變寒イ)、マタ (又)、シカシナガラ (併シナガラ)、アー (嗚呼)

(ろ) 一個ノ名詞デハアルガ、長イ爲ニ誤讀ノ恐アル時ハ便宜上幾綴カニ分ツテ書イテモヨイ。

[例]

{	トーキョーモーガッコウ (東京盲學校)
	トーキョー モーガッコウ (同)
	ジンジョーショーガクコクゴトクホン (尋常小學國語讀本)
{	ジンジョーショーガク コクゴトクホン (同)
	ジンジョー ショーガク コクゴ トクホン (同)

但シ分ツテ書ク場合、モシ誤讀ノ恐ガアレバ、切レタ所ニツナギヲ入レル。

[例] トーキョー—モーガッコウ

(は) 氏名ハ氏ト名トノ二ツニ分チ書ク。

[例] トヨトミ ヒデヨシ

二. (い) 助詞・助動詞・助數詞・接頭語・接尾語ハ、ソレゾレ其ノ附クベキ言葉ニ續ケテ書ク。

[例] ウメノ ハナ (梅ノ花)、ウグイスノ ハツネ (鶯ノ初音)、ハナナリ (花ナリ)、ハナナラズ (花ナラズ)、ハナデス (花デス)、ハナデショー (花デセウ)、アノ ヒトワ ソノトキ ウタヲ ウタイマシタ (アノ人ハ其ノ時歌ヲ歌ヒマシタ)、ネコガ 三ビキ イマス (猫ガ三匹居マス)、オトモヲ スル (オ供ヲスル)、オトモヲ シテ ユク (オ供ヲシテ行ク)、ヒトヲシテ イワシム (人ヲシテ言ハシム)、アルキナガラ ヨム (歩キナ

ガラ讀ム)

但シ「アノヒト」「ソノトキ」「アルヒ」(或日)ノ類ハ切ラズニ書イテモヨイ。
「デアル」「デナイ」ノ類ハツヅケテカク。

三. (い) 一綴リトシテ書クベキ言葉ガ、次ノ行ニマタガルヤウニナル場合ニハ、
ナルベクソノ言葉全體ヲ次ノ行ニオクル。但シソノ言葉ガ長イ爲ニ、全體ヲ
次行ニ移シテハ體裁ヲ損スル場合ニハ、適宜ノ所デニツニ分ツ。コノ場合モ
シ誤讀ノ恐ガアレバ、上ノ行ノ最後ノ所ニツナギヲ入レル。

(ろ) 一ツノ言葉ヲ分ツテ書ク時、濁點、又ハ拗音點ガ行末ニ來ル場合ニハ、上
ノ行ニツナギヲ入レテソレラノ點ハ次行ニ移ス。

四. 句點及ビ讀點ハ、誤讀ノ恐ガナケレバ、用ヒナクテモヨイ。

五. (い) 左ノ場合ニハ一問ヲアケテ書ク。

(イ) 獨立シテ意味ヲナス言葉ト言葉ノ間

(ロ) 姓ト名トノ間

(ハ) 同趣ノ名詞ヲ一行ノ中ニ列記スル場合ニ、ソノ名詞ト名詞トノ間ハ
一問ヲアケ、姓名ト姓名トノ間ハ二問ヲアケル。

(ニ) 語句ト語句トノ間、但シ讀點ヲ用ヒル場合ニハ、讀點ト次ノ語句ト
ノ間

(ホ) カギ「」、又ハ二重カギ『』ノ前後、但シ二重カギノ場合ハ、都
合ニヨリアケナクテモヨイ。(備考、「」ハ前後トモ三六、『』ハ前
五六及三六、後ハ三六及二三、ニテ表ス)

(ヘ) 括弧()、又ハ二重括弧(())ノ前後、但シ二重括弧ノ場合ハ、都
合ニヨリアケナクテモヨイ。

(ト) 單線—又ハ複線＝ヲ施シタルモノノ前後(備考、單線及複線ハ二柈ヲ
用ヒ、單線ハ第一柈ノ二ト第二柈ノ五、複線ハ第一柈ノ五六ト第二柈ノ
五六トヲ以テ表ス)

(ろ) 左記ノ場合ニハ二問ヲアケテ書ク。

(イ) 文又ハ段落ノ讀初メノ前

(ロ) 前ノ文ト次ノ語句トノ間、但シ前ノ文ニ句點ヲ用ヒタ場合ニハ、句

點ト次ノ語句トノ間

六. 題目ノ前後ハ適宜ニ間ヲアケル。

七. (い) 文章中ノ數ノ書表シ方ハ簡便ヲ主トシ次ノヤウニスル。

表 (省略)

(ろ) 數字ノ次ニ、ソレトマガヒ易イ助數詞ガ續ク時ニハ、ソノ間ニツナギヲ入
レルカ、又ハ一問ヲアケル

八. 外國語ノ前ニハ外國字符ヲ書ク、但シ間違ノ起ラナイ場合ニハ之ヲ省略シテモ
ヨイ。

静岡盲学校正面（木造校舍） — 10 周年記念誌より —



3. 視覚障害教育情報ネットワーク

(1) 概 要

国立特殊教育総合研究所が運営するネットワーク。本会で点訳される書籍の大部分は、ここに登録される。前身はパソコン通信による「盲学校点字情報ネットワーク」。平成14年5月よりインターネット化し、同年6月よりボランティア団体も参加可能になった。

(2) 登録状況

地域	盲	小	中	V	小計
北海道	5	0	0	1	6
青 森	2	0	0	0	2
岩 手	1	0	0	0	1
秋 田	1	0	0	0	1
宮 城	1	0	0	0	1
山 形	1	0	0	0	1
福 島	1	0	0	0	1
茨 城	1	0	0	0	1
栃 木	1	0	0	0	1
群 馬	1	0	0	0	1
埼 玉	2	0	0	0	2
東 京	5	0	0	2	7
千 葉	1	0	0	0	1
神奈川	3	7	2	1	13
山 梨	1	0	0	0	1
長 野	2	0	0	1	3
新 潟	2	0	0	1	3
富 山	1	0	0	0	1
石 川	1	0	0	0	1
静 岡	3	0	0	1	4
愛 知	2	0	0	0	2
岐 阜	1	0	0	0	1
三 重	1	0	0	0	1
福 井	1	0	0	0	1

地域	盲	小	中	V	小計
滋 賀	1	0	0	0	1
京 都	3	0	0	0	3
和歌山	1	0	0	0	1
奈 良	1	0	0	0	1
大 阪	2	0	0	0	2
兵 庫	3	0	0	1	4
鳥 取	1	0	0	0	1
島 根	1	0	0	0	1
岡 山	1	0	0	0	1
広 島	1	0	0	1	2
山 口	1	0	0	0	1
香 川	1	0	0	0	1
愛 媛	1	0	0	1	2
徳 島	1	0	0	2	3
高 知	1	0	0	0	1
福 岡	4	0	0	3	7
佐 賀	1	0	0	0	1
熊 本	1	0	0	1	2
長 崎	1	0	0	0	1
大 分	1	0	0	0	1
宮 崎	1	0	0	0	1
鹿児島	1	0	0	0	1
沖 縄	1	0	0	0	1
総 計	72	7	2	16	97

注： 盲 ＝ 盲学校または視覚特別支援学校、 小 ＝ 小学校、 中 ＝ 中学校
 V ＝ ボランティア団体・その他（国立特別支援教育総合研究所、キューズを除く。）

(3) データ登録状況（平成3年以降）

＜盲学校関係＞

1 位	栃木盲	199
2 位	静岡盲	49
3 位	横浜市盲	45
4 位	福岡盲	4
5 位	京都、沖縄盲	各 1

注：拡大、音訳など他のメディアも含んだ数だが、大半は点訳。
平成 14 年より前のボランティア製作は学校に含まれた。
栃木県は未だにボランティア登録が無く、学校名で登録されていると思われる。

＜ボランティア関係＞

1 位	燦の会	775
2 位	点字絵本の会	699
3 位	静岡点訳奉仕の会	431
4 位	T G R	197
5 位	やよい会	41
6 位	平塚点訳赤十字奉仕団.....	7
7 位	P I K O	6
8 位	長野市点訳グループてんとう虫....	1

注：1 位、2 位のグループは児童書中心なので、点訳量は本会が圧倒的に多いと思われる。

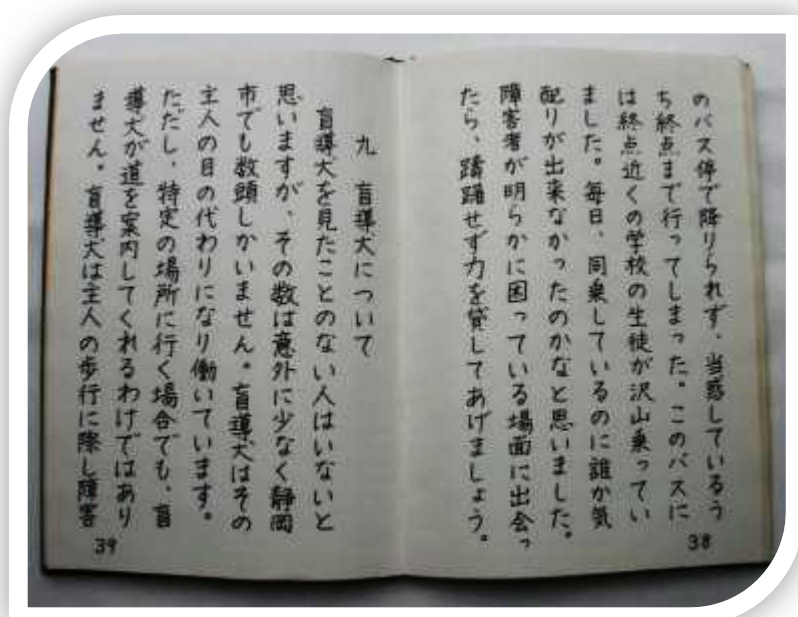
静岡点訳奉仕の会 会員名簿

(平成 24 年度)

No.	氏 名	役職	部	備 考
1	松原 幸男	会 長	点 訳	
2	松岡 悟	副 会長	拡 大	
3	粕谷 泰以	副 会長		静岡視覚特別支援学校 校長
4	橋田 憲司	監 事	点 訳	
5	榊原 淳一	監 事	拡 大	
6	笠原 昭男	役 員	P C	
7	太田 祐子	会 計		静岡視覚特別支援学校 副校長
8	松本 太郎	会 計		静岡視覚特別支援学校
9	馬場 俊一	事 務局		静岡視覚特別支援学校
10	久田 まり子	事 務局		静岡視覚特別支援学校
11	内記 優子	事 務局		静岡視覚特別支援学校
12	山本 敬子	事 務局		静岡視覚特別支援学校
13	片平 考美	事 務局		静岡視覚特別支援学校
14	高木 裕子	事 務局		静岡視覚特別支援学校
15	青山 和幸	事 務局		静岡視覚特別支援学校
16	鈴木 紗也加	事 務局		静岡視覚特別支援学校
17	矢島 渚人	事 務局		静岡視覚特別支援学校

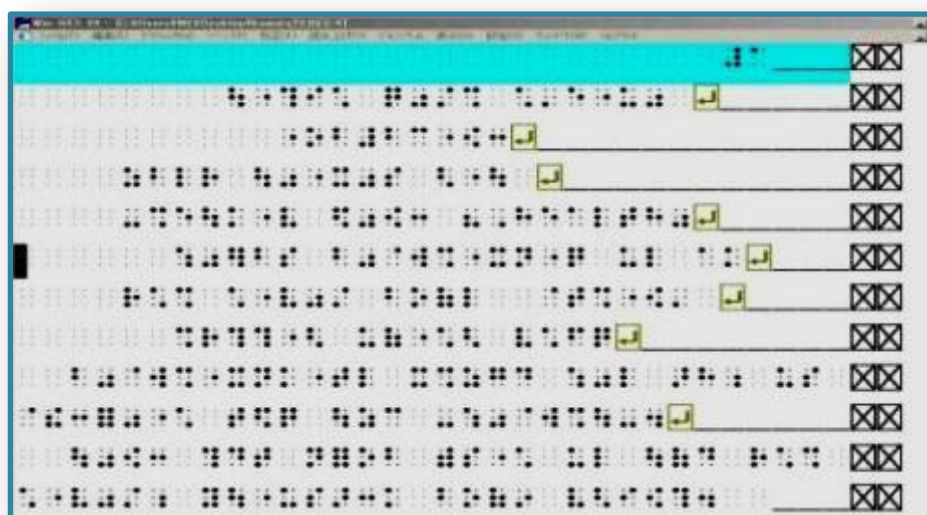
No.	氏 名	部	No.	氏 名	部
18	伊藤 裕美子	点 訳	28	伴野 富子	P C
19	櫻井 秀雄	点 訳	29	瀧井 久江	P C
20	白川 香	点 訳	30	堀江 美希代	P C
21	土橋 敦子	点 訳	31	光武 松子	P C
22	中野 文子	点 訳	32	岩本 令二	P C
23	太田 直美	点 訳	33	加藤 ルミ	P C
24	田中 夏美	点 訳	34	釜下 晃	P C
25	小澤 倫子	点 訳	35	稲垣 鈴江	P C
26	伊藤 舞美	P C	36	渡辺 恵美子	P C
27	堤坂 まさえ	P C	37	八木 利恵	P C

No.	氏 名	部	No.	氏 名	部
38	富山 真澄	P C	45	西廣 美幸	P C
39	深津 あけみ	P C	46	上村 英昭	
40	森主 由喜子	P C	47	田中 ちえ	
41	渡辺 雅江	P C	48	市村 寿子	
42	大塚 早希	P C	49	秋本 啓子	
43	関本 よし乃	P C	50	望月 加奈子	
44	本原 美智子	P C	51	佐藤 香織	



↑ 手書きの拡大図書

パソコン製作の「静岡点訳かわら版」↓





編 集 後 記

本会創立45年の記念誌を発行してから、早くも5年が経過しました。基本的には、今回は静岡視覚特別支援学校の部は割愛し、本会関係にしぼりまして、会員からの投稿は全て掲載する方針にしました。50年という年月は単に10年ごとの一里塚ともとれるし、半世紀という大きな節目とも捉えられるなど、個人によって見方は様々だと思います。あまりバックナンバーと重複させたくはないが、果たして体裁の取れるページ数だけの内容となるか、はらはらしながらの1年間でした。日進月歩の昨今、現時点での記録としてベストのものになっているかは疑問ですが、県内の複数の関係団体の紹介など、ある程度ユニークな内容になりました。御無理なお願いをお聞きいただき、積極的に原稿をお寄せいただいた皆様には、心より感謝しております。

とりあえず60周年までの本会の維持発展を祈念致しております。



製作：静岡点訳奉仕の会

〒422-8006

静岡市駿河区曲金 6-5-1 静岡視覚特別支援学校内

電話 054-283-7300

発行：平成 25 年 3 月

